

令和5年

予算特別委員会

3月9日

豊明市議会

# 予 算 特 別 委 員 会 会 議 録

令和5年3月9日

午前10時00分 開会

午後4時54分 閉議

## 1. 出席委員

委員長	近藤千鶴	副委員長	服部龍一
委員	堀内ちほ	委員	いとうひろし
委員	中村めぐみ	委員	林ゆきひろ
委員	ごとう学	委員	近藤ひろひで
委員	青木亮	委員	郷右近修
委員	清水義昭	委員	宮本英彦
委員	鵜飼貞雄	委員	近藤郁子
委員	毛受明宏	委員	一色美智子
委員	ふじえ真理子	委員	近藤善人
議長	三浦桂司		

## 2. 欠席委員

委員 月岡修一

## 3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	浅井俊一	議事課長	塚谷友昭
庶務担当係長	福田悦子	議事担当係長	寺島慎二
議事課主査	梅本憲		

## 4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮正典	副市長	土屋正典
行政経営部長	小串真美	市民生活部長	宇佐見恭裕
健康福祉部長	中村泰正	経済建設部長	伊藤正弘
秘書広報課長	馬場千春	企画政策課長	青木由美枝
公共施設管理課長	中田勝次	情報システム課長	長野直之
財政課長	萩野昭久	総務課長	山田隆貴
防災防犯対策課長	堅田直寛	税務課長	加藤健治
債権管理課長	小川正寿	市民協働課長	松本小牧

市民課長	杉浦由季	地域福祉課長	近藤有紀子
長寿課長	伊神竜一	健康推進課長	川原静恵
こども保育課長	塚本由佳	保険医療課長	伊藤克代
子育て支援課長	松村清子	産業支援課長	秋永亘正
農業政策課長	加藤直美	土木課長	星子恭士
都市計画課長	中野忠之	市街地整備課長	川島康孝
下水道課長	外山紀元	環境課長	塚田力
会計管理者 兼出納室長	相羽敏明	監査委員事務局長	平下義之
指導保育士	柴田美由紀	新型コロナワクチン 接種推進室長	今枝翼
財政課長補佐	浦倫彰		

5. 傍聴議員

なし

6. 傍聴者

なし

午前10時開会

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 皆さん、おはようございます。定刻に御出席いただきましてありがとうございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから予算特別委員会を開催いたします。

なお、月岡修一議員より本日欠席の連絡がありましたので、御報告いたします。

会議に先立ちまして、市長より挨拶を願います。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 皆様、おはようございます。

本日の予算特別委員会に付託されました案件は、令和5年度豊明市一般会計予算をはじめ8議案でございます。慎重な審査をいただきますようどうぞよろしく願いいたします。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 御苦労さまでした。

続いて、議長より挨拶をお願いします。

○議長（三浦桂司議員） 私はメンバーではありませんけども、概算予算とはいうものの381億という金額が計上されておりますので、慎重審議、よろしく願いいたします。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 御苦労さまでした。

ここでお諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退席願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おきをお願いします。

（市長退席をなす）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

本日の予算特別委員会の進め方につきましては、3月3日の委員会で協議されておりますので、その結果に従い進めさせていただきます。

日程につきましては、一般会計については、原則として、1款より款別に所管の課長より歳出及び関係する歳入について説明を受けた後に質疑を行います。なお、2款においては、所管の課長より歳入全般の説明をしていただきます。

なお、総括質疑は、一般会計の各款別の質疑終了後に行います。

次に、特別会計及び企業会計については、議案番号順に進めます。

討論については、企業会計の質疑終了後に一括して行い、採決は会計ごとに議案番号順に行う予定であります。

職員の方にお願いたしておきますが、各委員の質疑の時間をできる限り確保したいと思っておりますので、特に重要な部分などを簡潔に説明していただき、直ちに答弁ができないときは後から答弁をしていただくということで次の質疑に移りますので、協力を願います。

反問権を行使される場合は、意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。また、反問を終了したときも明確に意思表示されるようお願いいたします。

さらに、議事の進行により説明者の入替えのために休憩を取りますが、速やかに行ってくださいようお願いします。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、各委員の質疑についても円滑な委員会の進行に御協力願います。

それでは、会議に入ります。

議案第1号から議案第8号までを一括議題といたします。

最初に、議案第1号について説明及び質疑を行います。

1款 議会費について説明を願います。

塚谷議事課長。

○議事課長（塚谷友昭君） それでは、議案第1号 令和5年度豊明市一般会計予算のうち議会費の説明をいたします。

当初予算の概要30ページをお開きください。

歳出の1款 議会費は、総額2億3,647万3,000円、前年度と比較し753万9,000円の増額です。

では、事業別に主なものを御説明いたします。

議員活動事業1億7,534万7,000円は、前年度と比較し36万5,000円の減額となっております。主な要因といたしましては、上から3つ目、議員共済給付費負担金が、負担率の変更により減額となっております。

次に、事務局事業1,158万円は、前年度と比較し111万1,000円の増額となっております。主な要因といたしましては、主に改選に伴う議員用の物品購入や写真撮影の費用となります。

以上で1款 議会費の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明が終わりました。

1 款 議会費の質疑に入ります。

質疑については、必ずページ数と項目を明示してから行ってください。

質疑のある方は挙手願います。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 毎回お聞きしていることですが、概要の今の30ページの議員共済負担金の掛金の率が下がったということですが、どういうふうに下がったかということと、それから、この対象になっている元議員さん本人、あるいは本人が何人、それから、遺族年金で受け取っておられる方が何人見えるか教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○議事課長（塚谷友昭君） まず、負担率につきましては、100分の32.2から100分の31.5に変更となっております。

年金の受給者につきましては、退職年金が11名、遺族年金が19名、計30名の内訳となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 率が下がったのは、何か共済組合のほうから説明があったんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○議事課長（塚谷友昭君） 負担率につきましては、毎年、政府予算案が閣議決定された後に共済会のほうから通知がされるんですが、主に廃止となった議員年金ですので、受給者が徐々に減っていく傾向にございますので、そのようになっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて1 款 議会費の質疑を終わります。

続いて、2 款 総務費のうち行政経営部、出納室、監査委員事務局所管部分について、順次、説明を願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） それでは、2 款 総務費のうち財政課所管部分について御説

明いたします。

歳出については、令和4年度と比べて大幅な増減、内容の変更のある事業のみとさせていただきます。

当初予算書の108、109ページをお願いいたします。

最上段の2款 総務費、1項5目 財務会計事業は1,005万5,000円の計上で、前年度より405万6,000円の増であります。これは昨年10月更新の財務会計システムの電算関係借上料が6か月分から1年分の計上となったことなどによるものです。

その下の財政管理事務事業は414万1,000円の計上で、前年度より94万1,000円の減であります。これは消耗品費で計上していた財務会計システムの借り上げ延長のための延長ライセンスが不要になったことなどによるものです。

歳出は以上でございます。

次に、主な歳入の御説明をいたしますので30、31ページにお戻りください。

上段の4款 配当割交付金とその下の5款 株式等譲渡所得割交付金は、県の見込みなどから増額を見込んでおります。

下段の6款 法人事業税交付金は、交付率の変更などにより増額を見込んでおります。

次のページ、32、33ページの上段の7款 消費税、地方消費税交付金についても、県の見込みなどから前年度比1億2,100万円の増としております。

中段の8款 環境性能割交付金は、県の見込みなどにより減額を見込んでおります。

次のページ、34、35ページの中段の10款 地方交付税は、内訳といたしましては、普通交付税で3億7,000万円増の15億4,000万円、特別交付税は前年度同額の1億5,000万円としております。

続きまして78、79ページをお願いいたします。

18款 繰入金、1項1目の財政調整基金繰入金は、前年度同額の7億1,000万円を繰り入れます。

続きまして82、83ページ、最下段をお願いいたします。

20款 諸収入、4項1目 競馬事業収益配分金は、愛知県競馬組合からの競馬事業の収益配分金として、前年度より2,400万円増の7,200万円を計上しております。

続きまして、94、95ページ、最下段をお願いいたします。

21款 市債、1項4目の臨時財政対策債は、前年度より2億3,500万円減の1億5,000万円を計上しております。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） 続きまして、秘書広報課所管分の歳出より説明させていただきますので、予算書102ページ、103ページを御覧ください。

2款1項2目 秘書人事管理費、右側103ページの下段、1 秘書人事人件費では、前年比で約3,000万円の増額となっております。主な増額要因は、職員共済組合負担金、退職手当組合負担金、公務災害補償費の増額によるものです。

説明欄の2行目、職員共済組合負担金は、令和4年10月からの医療保険制度の変更により、会計年度任用職員などの短時間勤務職員が共済組合へ加入となり、事業主負担分を約2,380万円増額するものです。

説明欄の下から4行目、公務災害補償費は、通勤災害に係る被災職員の遺族補償の福祉事業として、遺族特別支給金、遺族特別援護金を支払うため増額となります。

1枚おめくりいただきまして、105ページを御覧ください。

中ほどの、4 秘書人事管理事務事業は、前年比で約1,180万円の減額となっております。主な減額要因は、電算関係委託料の減額によるものです。

右側説明欄の下から7行目、電算関係委託料について、令和4年度は、定年延長に伴う人事給与システム改修と短時間勤務職員共済加入制度対応に伴うシステム改修を臨時で予算計上しており、令和5年度予算においては、その分の約1,190万円が減額となっております。

続いて、歳入の説明をしますので84ページ、85ページを御覧ください。

20款5項3目5節 雑入です。

雑入項目の説明欄、上から3行目、雇用保険掛金負担金は、被保険者負担率が上がるため、約89万1,000円の増額となりました。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 相羽会計管理者。

○会計管理者（相羽敏明君） それでは、出納室が所管する主な歳出を御説明いたします。当初予算書108、109ページを御覧ください。

2款1項6目 会計管理費の当初予算額は2,432万9,000円で、前年度と比較しますと約158万円の増額であります。増額の要因は、総合収納システムのデータ電送形式の変更に伴い電算関係委託料及び口座振替伝送システム使用料が増額となっているためでございます。

以上で出納室所管の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） それでは、公共施設課所管分の説明をさせていただきます。



きます。

全て予算書で説明をさせていただきます。

まず、歳出より御説明いたします。

予算書は112ページ、13ページ、当初予算の概要は31ページをお開きください。

表の上段になります。2款1項7目 4 公共施設管理事業 8億2,470万円は、前年との比較で3億7,960万2,000円の増額となります。

詳細につきましては、右の説明欄にて説明をさせていただきます。

3行目、手数料1,085万3,000円は、主にアスベスト分析調査に要する費用でございます。

4行目、工事設計等委託料6,794万9,000円は、栄小学校長寿命化改修工事実施設計をはじめとする設計業務委託に要する費用でございます。

5行目、調査・点検業務等委託料5,105万7,000円は、豊明小学校、中央小学校、沓掛小学校の各長寿命化調査委託料をはじめとする調査、点検に要する費用でございます。

2行下の8行目から10行目につきましては、いずれも営繕工事費となります。

まず、総務費営繕工事費は300万円になります。こちらは主に共生交流プラザの利用改善に要する費用でございます。

その下、民生費営繕工事費 2億4,062万3,000円は、主に旧沓掛保育園や旧どんぐり学園の園舎などの解体や処分、西部保育園の園舎改修に要する費用でございます。

最後に、教育費営繕工事費 4億5,060万4,000円は、二村台小学校校舎外壁改修工事、及び当初予算の概要18ページにも掲載の図書館外壁及びトイレ改修工事費、並びに令和4年度事業から移行しました南部公民館図書室機能拡充等整備工事に要する費用でございます。

次に、歳入の御説明をいたします。

ページは78、79ページをお開きください。

18款の繰入金になります。3目 福祉基金繰入金 3億100万円のうち1億5,800万円につきましては、歳出にて御説明させていただきました民生費営繕工事費のうち旧沓掛保育園、旧どんぐり学園の園舎などの解体並びに南部児童館トイレ整備に要する費用に充当するものでございます。解体のほうの充当率は90%、トイレ整備は80%となります。

続きまして、諸収入の説明をさせていただきますので86ページ、87ページをお開きください。

右の説明欄になります。7行目になります。太陽光発電パネル撤去・再設置工事費負担金394万9,000円につきましては、歳出で説明させていただきました教育費営繕工事費のうち豊明小学校並びに沓掛小学校の校舎屋上防水改修工事において、既設の太陽光パネルの

撤去や再設置工事費の2分の1について、設置事業者より負担いただくことが協定で締結されているものでございます。

続きまして、市債の説明をいたしますので94ページ、95ページをお開きください。

主なものを説明させていただきます。

2段目です。保育園改修事業債5,410万円は、民生費営繕工事費のうち西部保育園の園舎改修工事費に充当する市債で、充当率は90%。

3行目、学校施設改修事業債1億8,450万円につきましては、教育費営繕工事費のうち二村台小学校の校舎外壁改修工事、豊明小学校及び沓掛小学校の校舎屋上防水改修工事に充当する市債で、外壁改修が75%、屋上防水が90%でございます。

最後に、予算書の13ページをお開きください。

上段、第2表の繰越明許費でございます。こちらの735万7,000円につきましては、歳出予算における工事設計等委託料6,794万9,000円のうち館小学校校舎建設等設計委託料について、年度内の完了が困難であるため、全額繰越しとして計上させていただきました。

以上で公共施設管理課所管の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 青木課長。

○企画政策課長（青木由美枝君） それでは、企画政策課所管について歳出から御説明いたしますので、予算書の112ページ、113ページをお開きください。

中段、2款1項8目 企画費は9,452万3,000円を計上し、前年度比319万5,000円の減額となります。

公募型プロポーザルで選定した令和5年度からのチョイソコとよあけ運行事業者が提示した運行経費が前年度までの事業者に比べて安価であったため、乗合交通負担金が減額になっていることが主な要因であります。

1 企画事務事業の右側説明欄、下から6行目、まちづくり推進業務委託料は、まちづくり指標の現状値を把握分析することを目的としたアンケート調査に係る委託料となります。

1枚おめくりください。

2 地域創生事務事業の右側説明欄、下から4行目、循環バス運行負担金7,436万1,000円は、ひまわりバスの運行に係る負担金であります。その3行下、乗合交通負担金1,312万6,000円は、チョイソコとよあけに係る負担金となります。

続きまして、歳入の主なものについて御説明いたしますので60ページ、61ページをお開きください。

上段、15款2項1目 総務費県補助金の右側説明欄、循環バス事業費補助金100万円は、

ひまわりバスの運行事業に対して交付される元気な愛知の市町村づくり補助金であります。

続きまして、86ページ、87ページをお開きください。

上段、20款5項3目 雑入の右側説明欄、5行目のひまわりバス高齢者年間定期券販売収入30万円は、市内在住で65歳以上の方を対象に販売しているひまわりバスの年間定期券の販売収入であります。

以上で企画政策課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） 続きまして、情報システム課所管分について御説明します。

歳出から説明しますので、予算書は120、121ページをお願いします。

12目 電算管理費の当初予算額は1億8,171万5,000円を計上しており、前年度比で4,760万5,000円の増額となっています。

増減の主なものについて御説明します。

右側説明欄4つ目、消耗品費は、プリンタートナー等の消耗品のほか各種ライセンスの購入費用を計上しておりますが、令和5年度は、12月補正の債務負担でお認めをいただきましたオフィスライセンスの更新事業が増額の要因となっています。

4つ下の電算関係委託料は、文書管理・電子決裁システムの導入事業を計上したことにより増額となっております。

続いて、2つ下、電算関係借上料は、当初予算の概要、7ページにも記載がございます、長期継続契約予定のNLP等帳票処理装置、連続用紙用のページプリンターになりますけれども、こちらの更新と、また、サーバーの更新などが主な要因です。

その下、ASP等使用料は、文書管理・電子決裁システムの利用料、市役所Wi-Fiの管理使用料、チャットツールライセンスの増などが主な要因です。

2つ下、OA備品購入費は、プリンター7台の更新費用を計上しています。

電算管理費の一番下、あいち情報セキュリティクラウド負担金は、令和4年度に新セキュリティクラウドへの移行が完了したことにより、移行費用分が減額となっています。

続きまして、歳入を御説明しますので、予算書は48、49ページをお願いします。

14款2項1目2節の電算管理費補助金、デジタル基盤改革支援補助金は、自治体情報システムの標準化、共通化に伴う調査業務委託に対する国の補助金で10分の10交付されるものです。

以上で情報システム課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 平下監査委員事務局長。

○監査委員事務局長（平下義之君） それでは、監査委員事務局所管分につきまして、予算書の136、137ページをお開きください。

6項1目 監査委員費は2,450万3,000円で、前年度と比較し349万円の増であります。予算の内訳は、監査委員2名の報酬と事務局職員3名の人件費及び経常経費であります。

以上で監査委員費の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明は終わりました。

2款 総務費のうち行政経営部、出納室、監査委員事務局所管部分の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書の33ページの真ん中の環境性能割交付金ということで、先ほど財政のほうから説明がありましたけど、少しまたがってしまうんですが、25ページのところにも環境性能割があるんですけども、これと何か関連があるのか。環境性能割の交付金が減っている反面、こっちの25ページのほうは増えているので、何かそういった、税率が変わったとか、そういう要因があるんでしょうか。25ページの真ん中の環境性能割。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 25ページのほうは軽自動車の分になりまして、33ページのほうは普通車というのですか、の部分になります。33ページの普通車の環境性能割交付金のほうは県のほうから交付をされますので、県の見込みのほうから出しておりまして、自動車の売上げによって大きく変わってきますので、半導体とかの関係で売上げが減になるというような見込みで減となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

マイクをお願いします。

○ごとう 学委員 25ページのほうの軽自動車は大幅に増えておるわけですけど、これは増えた理由は何でしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 税務課のほうで見込んでおるんですけども、実績というんですかね、4年度の決算見込みなどから出しておりまして、そこから増を見込んでおると聞

いております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 31ページをお願いします。

毎年出てくるものなんですけども、なかなか分かりにくくてお聞きするんですけど、31ページが一番下の法人事業税交付金1億3,000万ということで、前年が9,400万で3,600万ほど増えておりますけれども、これと、法人市民税のほうは率が下がって、今、最低の6%まで下がってきているわけですが、法人事業税交付金というのは関係があるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 法人事業税交付金のほうの増額の大きな要因としましては、この交付金は4年度までは法人税割額と従業員数の県全体の割合に応じて交付されておりましたが、5年度からは全て豊明に有利な形の、従業員数で交付される形になりますので増額となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 95ページの臨時財政対策債が、予算上、前年度予算よりも2億3,500万減額されておりますけど、予算上、下げた理由というのは何でしょうか。国の方針でしょうか、あるいは市の基本的な考え方でしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 減額しているのは、国のほう全体でマイナスの44.1%というのが示されましたので、それに応じて出しました。市の方針としては、全額というのですか、現金化するという方針は変わっておりません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 103ページの下から4段目の公務災害補償費でかなり金額が増えておりますけども、先ほど、通勤災害の補償というようなお話がありましたけども、今回新規

にそれに加わられたのか、もう少しこの補償の内容と申しますか、どういったものなのかお聞かせください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） 帰宅途中の非常勤職員が事故に遭いまして、その関係で、通勤による災害を受けた職員の遺族に対して公務災害補償制度上の給付金を支給するものです。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 遺族に対してということは、その事故では亡くなられたというような、そんな事故があったということですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場課長。

○秘書広報課長（馬場千春君） 委員のおっしゃるとおりです。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

中村委員。

○中村めぐみ委員 113ページの公共施設管理事業の、資料にもあるんですけど、工事設計等委託料、その下の調査・点検業務等委託料、それから、下のほうの民生費営繕工事費、教育費営繕工事費なんですけど、内容のほうは資料のほうでいただいているんですけども、これの積算の金額のほうをお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 今ですと御質問は資料ナンバー1の①、④、⑤、⑥のことだと思いますので、まず1から、上から読み上げていきますのでよろしいでしょうか。

（はいの声あり）

○公共施設管理課長（中田勝次君） 館小学校の校舎建設等工事設計業務委託は、これ、金額は今後の発注の関係がありますので大まかということで御理解いただければと思います。750万。1行目、750万。続けて言います。2行目、3行目という言い方をしていきます。2行目は4,800万。3行目、300万。4行目、900万。5行目、50万。まずこれが①でござ

ざいます。

続けて、④です。一番上の段から、まず1行目、400万です。2行目は、件数が3件で3,100万。3行目は2件で1,600万でございます。

続きまして、⑤になります。1行目、5,200万。2行目、6,000万。3行目、1,700万。4行目、200万。5行目、1億1,000万となります。

最後に⑥になります。⑥は表と裏がありますので説明していきます。

まず、表の1行目と2行目につきましては、当初予算の概要に金額が書いてありますので、その金額をそのまま伝えさせていただきます。図書館のトイレ改修工事は4,248万、図書館の外壁改修工事は4,229万3,000円、合計して概要書に8,477万3,000円と記載させていただいております。

3行目、校舎防水、これはパネルの撤去や再設置も含めて900万。こちらは豊明小学校分です。900万。下段の沓掛小学校が、同じくで2,100万。最下段が2億1,900万。

裏面をお願いします。

1段目が800万。2段目が5,300万。3段目が300万。4行目、最後に関しましては、これも当初予算の概要にありますので数字を述べます。5,336万1,000円。

以上となります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今回の資料の御説明の中にありました資料ナンバー1の④の紙なんですけれども、調査・点検業務等委託料の一覧の3行ある一番下の旧沓掛保育園と旧どんぐり学園の解体に伴う事前事後調査ということで、両方合わせて1,600万、およそというふうでした。そこの委託内訳の一番下のところに、米印で、事前調査と事後調査を別発注とする予定と書いてあるんですが、これ、別発注とする予定という理由、一緒じゃなくて別発注とする理由をお聞かせください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） これを別発注にする理由は、まず、事前調査は間違いなくするんですが、事後調査に関しましては、解体工事後の影響があるかどうかということを確認をした上で、事後調査を発注するか否かというのは最終的な判断になります。ただ、現時点ではその可能性があるということで、予算としては計上させていただいている次第でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかに。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今回の関連ですけれども、その工事が終わった後、事後調査、影響の有無によってというお話でしたけれども、その影響の有無はどなたが判断される予定であるのかということと、あと、解体工事業者と事前調査、事後調査の調査を業務する委託とを分ける理由も併せてお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 1つ目の御質問に関しましては、判断をするのはこちらの事前事後調査の受託者になります。

もう一つの御質問なんですが、これは事前事後の調査、このような建物の損失補償等々の専門業者になりますので、第三者。施工者というわけではなく、第三者の目ということでも専門業者に委託するので別発注ということにさせていただいています。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 先ほどの資料の中の、資料ナンバー、最後の6、6の裏側、勅使グラウンドの改修工事。第8次実施計画にも記載されておりますけれども、この実施計画を読みますと、ここの資料にもあるんですけど、大型門扉、災害用の関係で機能充実を図ると書いてあるんですけど、大型門扉2か所新設、災害用、ごみ集積場用と。これはどんなようなイメージの工事なんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） ただいまは全てグラウンドがフェンスで囲まれていると思いますが、そこのフェンスを一部、2か所ですが、切り取って、大型のフェンス型になりますけど、大型の門扉をそこに設置をするという形でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 切り取る場所はどこら辺を予定されているんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） これはグラウンドの屋外便所側、いわゆる清掃事務



所側というか川側のほうに1か所と、今、借地で借りている、舗装してない、砂利を敷いている駐車場がありますね、そちらのほうにもう一か所、計2か所ということで予定をしています。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバーの③の総務費営繕工事費、こちらのほうも300万ですけど、およその金額で結構ですので、割合ですね、金額を教えてください。資料ナンバーの③、総務費の営繕工事費のほう。お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 資料ナンバー3の③ということでよろしかったですね。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 資料ナンバー1の……。

（資料ナンバー3の③ですの声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 3の③。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） これの詳細な説明ということでよろしいですか。

（金額での声あり）

○公共施設管理課長（中田勝次君） 金額ですか。失礼しました。

1行目、防災垂れ壁改修工事が70万。その下の自動扉改修工事、これはカラットですね、こちらが220万になります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） すみません。先ほど、ふじえ委員からの御質問の事前事後調査の誰が判断するかということでちょっとお話があったんですが、私のほうがちょっと説明が誤りがありました。申し訳ございません。訂正をさせていただきます。

建物が、結局、事後調査をやるかどうかというのは、各自の建物所有者の、事前に、現状は事前調査でこういう状態ですとお示しはさせていただいた上で、工事が終わった暁に、建物所有者おのこの判断で、こういうところに例えば発生したんじゃないか否かということがありましたら、事後調査を発注するという予定でございます。失礼しました。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書、ページが115、2款1項8目 地域創生事業。乗合交通の事業者の費用が前年に比べて21.2%でしたか、減額となっている。もう少し、何か工夫とか努力があってこうなったのかどうかみたいなの、中身を少し知りたいです。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

青木課長。

○企画政策課長（青木由美枝君） こちらのほうにつきましては、令和4年6月の議会で、債務負担行為で、5年度、6年度の2か年で新たな運行事業者を決めるためにということで債務負担をお認めいただいております。新しい事業者がプロポーザルで決まりました。その結果、これまでに示されていた運行事業者から出ていた経費、運行に係る経費が、新しい事業者ではかなり額を下げ提示をされていたものを採用しているものですから、そのためにこの金額が年間ということで差が生じてきたものです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 実際に業務に当たる人の人件費が安いとか、何かそういうのは分かるんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

青木課長。

○企画政策課長（青木由美枝君） プロポーザルのときには、こういったものを全部経費として積算をして、それで費用が幾らになるのかというようなことを示していただいておりますので、それに基づいて、これから契約しようとしている事業者のほうを示してきた金額となっていますので、全部込みでということになっていますので、そこまでは、申し訳ないんですが、分かりません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じ乗合交通負担金ですけど、これ、金額がざくっと下がっているんですけど、令和4年度と令和5年度以降と、当初予算の下がっているのとで運行形態をガラッと変えるとか、そういうことはないということですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

青木課長。

○企画政策課長（青木由美枝君） 基本的には今までやっているものと同じものであるということを示して、運行経費を新しい事業者が示してきている金額が下がっているというようなことが主な要因ですので、何かサービスを低下させるだとか、そういうようなことは一切ありませんのでお願いいたします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じバス関連ですけれども、概要の32ページ、同じ地域創生事務事業の中の概要32ページの上のほうにあります地域創生事務事業の中のバス待合所管理業務委託料が、令和5年度はゼロとなっているんですが、これはどういう理由ですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

青木課長。

○企画政策課長（青木由美枝君） こちらのほうにつきましては、今までは、シルバー人材センターのほうで待合所の鍵の開け閉めをお願いをしていたんですが、そちらのほうを5年度からは名鉄バスのほうに、ひまわりバスを運転している運転手の方に開け閉めをしてもらうのを無償でやっていただけたというようなふうになったものですからゼロになりました。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 先ほど配られた資料1の③をお願いします。先ほどの資料ナンバー1の③、栄小学校児童クラブ建設の概要の予定ということで示されておりますが、これで見ると、建物の構造が書いてあって、それが現プール附属棟の跡地に建てられるということですが、たしかここには図書室も造られるというような、そういうお話だったかと思いますが、この900平米はどのように使われるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小串部長。

○行政経営部長（小串真美君） 私どものほうで建設、建築のほうはやらせていただきますけれども、中身の使い方、ソフト事業については、また10款のほうでお尋ねいただきたいなと思います。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 同じところで、栄小学校の児童クラブですけども、地上2階、地下1階ということなんですけども、これが何部屋ぐらいを考えているのか。

それから、地下というのは、多分倉庫がなくなるのかなと思うんですけど、なくなるのかどうか、その辺りはまた倉庫として活用する予定なのかお聞かせください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小串部長。

○行政経営部長（小串真美君） 地下1階というのは、グラウンドから来ている、今、委員がおっしゃられたとおり、器具庫みたいになっているところが残ります。その上に2階建てが建つというイメージです。

部屋割りにつきましては、現在、管理していただく方というか、運営していただく方の事務室の数も含めて検討中になっておりますので、今、まだちょっと正確に数字が出ていないような状況でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー1の②の栄小学校の長寿命化の改修のところですけども、一番上の駐車場の拡張というふうにあるんですけども、これは小学校の駐車場をどのように拡張するのか。

それと、一番下の倉庫、防災倉庫が解体撤去となっているんですが、これはどこの倉庫の解体撤去を指しているのか。また、それは新たに造るのか、もうなくなってしまうのか、お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） お答えします。まず、駐車場の拡張につきましては、敷地の北西の角に、今、児童公園というか、ちっちゃな公園があるのを御存じかと思うんですが、既に学校の従事者の駐車場が飽和状態になっております。そちらの北西の公園のようなところを撤去して、そこへ主に職員用の駐車場を拡張するというところでございます。

一番下の倉庫、防災倉庫の解体撤去なんですけども、これは、今、御説明しました公園の中に簡単なコンテナの倉庫があるのと、北校舎の裏にブロック造の、もう既にほとんど使っていない倉庫がありまして、そこに防災用の備品等が少し入っているんですけども、こちらは長寿命化の絡みで、極力そういう建物は撤去しつつ、先ほど話があった児童クラブ、児童クラブ室のほうへこちらのいわゆる防災倉庫機能を集約するという予定でございますの

で、倉庫はこちらの長寿命化では解体撤去と示させていただきました。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 予算書の33ページをお願いします。

簡単なことを聞いて申し訳ないですけども、一番上の地方消費税交付金、約16億上がっておりますけれども、これは概要のほうで、このうちの9億700万ですか、約9億が社会福祉とか社会保険あるいは保健衛生に充当するというので概要の5ページに載っておりますけれども、この9億は全体の22分の12ということですけども、この率は、例えば消費税法とか、そういう法定のものなのかどうかということと、それから、今回のコロナの問題があって以前よりは上がったりしているのかどうかという辺りをちょっと教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 国から決められたもので、コロナによって率が変わっているということはありません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 国から決められているというのは、国が何を根拠に決めているのか。例えば、法律の中にこれがうたわれているのか、国がその年度、適当にとってはあれですけど、決めているものなのか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 消費税が5%から増額になったときに、その増額になった部分は社会保障費に使うというんですかね、そういうことになりましたので、そこから、5%から上がった部分を計算すると22分の12になるということです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 ちょっと確認です。ということは、22分の12というのは、消費税の額いかに、上がった率の分について交付されてくるということで、この率は変わることは

あり得るといふことなんですかね。率があつて額が決まるんじゃないんで、上げられた消費税率の分が交付されて、それを逆算すると22分の12とかというような率が出てくるという、そういうことなんですかね。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 率はもう決まっておりますので、だから、22分の12ですので約半分といいますか、そういうことになりますので、決まった率というんですかね、なっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどのナンバー1の②の長寿命化の改修のことで、先ほど、北西の児童公園を撤去するというようなお話がありましたけども、ここは低学年の子が遊ぶ用の多分ところだと思いますけども、なので、低学年の子が安全に遊べるような遊具というのはそこに集約というか、集まっていると思いますけど、そういったものというのはどこか、例えば運動場のほうに残すとか、そういったことは検討されているのか、あるいは、あと、子どもとか学校等の意見というのは、聞いてそういうふうなことになるのかどうか、その辺りをお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 当然、学校との協議をさせていただいて、やはり駐車場というのがどうしてもということで話が上がりました。一方で、やはり、委員おっしゃるとおり、低学年用の遊具ということもあります。こちらに関しては、まだ何ともはつきりはしていないんですが、長寿命化改修というのは、敷地内の全てのことに絡んできますので、どの位置かに幾ばくかの復旧というか、新しい設置という可能性は現時点ではあると思います。これから学校ともまた詰めさせていただきます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 資料ナンバー1の⑤、民生費當繕工事費一覧の一番下の旧沓掛保育園の園舎解体工事に内訳が書いてあります。壊すのはこの2棟ということで、延べ床面積も書いてあります。この壊す対象の建物の構造、いろんな、RCとか鉄骨とかあるんです

けど、その構造と、あと、昔、東部保育園を解体するとき、後からコンクリートくいがあって追加であったんですが、ここはそういったことは大丈夫でしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） まず1点目ですが、建物が2棟あります。1棟目は、西側にありました平屋の鉄骨造平屋建ての建物と、一番北側にありました大きい建物、園舎が、鉄筋コンクリート造の2階建ての建物でございます。

もう一つの御質問、くいに関しましては、当然、こちらについても、東部のときもそうだったんですが、くいの埋設精度というのは、正直、今掘っているわけじゃないのでこれは分かりかねます。

くい抜きの方法につきましては、当然、前回のような変更という可能性も、もちろん、埋設しているものですので、変更の可能性は否定はできません。一方で、当初予算において、東部保育園変更時のような重機を用いた仕様とすることが適切かどうか。いわゆる過剰との認識はこちらは持っておりまして、現時点ではあくまで通常のくい抜きが可能と判断して発注をする事業費としておりますが、当然、これは、またその時点においてどういう状況かということで、東部保育園のような機械を変えるような形ということはある話だと思います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 今回の件に関連して、どんぐり学園と、それから、沓掛保育園の建物、取壊しをする建物は、耐用年数は何年のうち何年が今過ぎているというような状況なんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） まず、旧の沓掛保育園ですが、ちょっと説明が長くなります。すみません。西側の平屋の建物は、まだ町の頃、民間から移管をされた建物で、こちらは昭和43年建設だということで認識をしておりますので、現時点で54年たっております。鉄骨の建物の平屋ですので、おおむね耐用年数は超過しているものだというふうに認識をしております。この耐用年数という言い方は、今でいうと、財務省の耐用年数が一般的に示されておりますので、そういう意味での発言と御理解いただければと思います。

奥の鉄筋コンクリート校舎は、昭和45年ですので52年です。こちらは一般的によく65年

だとか80年だとか言われます。長寿命化しなければ一般的に65年ということで公表されておる数字だと思いますので、まだ耐用年数というその数字だけでは到達はしておりません。

どんぐり学園は、昭和の51年ですかね、ちょっと私の記憶がはっきりそちらはしていないんですが、おおむね四十五、六年だという認識をしております。こちらは鉄筋コンクリートの建物ですので、先ほどの沓掛保育園の奥の校舎、鉄筋コンクリートと同様ですので、耐用年数が来ているかどうかと言われれば、まだそこまでは来てはいない。ですけど、こちらに関しては解体ということになっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今回の沓掛保育園の園舎解体に関連しまして、実施計画書の中で、旧沓掛保育園の借地の買取りで1,000万円ほど上がっているんですが、これは、解体と、この用地の買取り、買収する理由と平米数をお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ふじえ委員、それは2款のほうで。市民生活部のほうで。

（失礼しましたの声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書121ページ、2款1項12目 電算管理事業です。

去年の決算のときにも伺ったように、具体的に、令和5年度は、今の見込みとして、具体的にどんな従来の市のいろんな事務事業の簡素化とか電算化とかをしてみたいのかということと、それに伴う省力化がどれぐらい見込めそうかというのが分かったら聞かせてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） 令和5年度は、予算の概要にもございます、文書管理・決裁システムのほうの導入を予定しておりまして、こちらのほうで内部事務のデジタル化、簡素化のほうを図っていければなというふうに考えております。

あと、RPAのほうも同じ予算を取っておりまして、ライセンスですとか、あと、シナリオの作成、支援の委託料も確保しておりまして、現状でいきますと、令和4年度ですと4つぐらいの事務で新たにチャレンジをしておりますので、令和5年度も引き続きやっていきたいなと考えております。



以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 これも同じ、手入力でキーボードで打っていたような作業を、様式と読み取り機とかそういうのを使ってみたいな、どんなこと、手法を何か分かれば教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） おおむね紙の様式のをA I－O C Rというので読み取ってデジタル化、電子化をして、R P Aで自動化ということで、集計したりというような作業、転記したりというところが主なところです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 委員の皆さんにお伺いします。まだ質疑はありますか。

（ありますの声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） まだある。

会議の途中ですが、ここで10分間の休憩といたします。

午前11時2分休憩

午前11時12分再開

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

質疑のある方は挙手願います。

清水委員。

○清水義昭委員 休憩前のときの情報システムさんの質疑の続きですけど、予算の概要19ページの上の段、恐らく御説明があったのはこれのことだと思うんですけど、この文書管理・電子決裁システムですけど、これは庁内業務というふうにあるんですけど、出先機関も対象になるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） 対象になります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 清水委員。

○清水義昭委員 組織体系でいくと、市とか教育委員会とかとあるんですけど、それ全ての組織が対象になりますか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） 全て対象になります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 清水委員。

○清水義昭委員 2,000万余ですけども、この中でハードとソフトでおのおの幾らぐらいかという切り分けはされていますでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） 内訳としましては、委託料で2,000万と、あと、ASPの使用料で130万ぐらいになっておりまして、あと、プロポーザルで選定を予定しておりますので、その辺の内容は今からちょっと詰めていきたいと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 若干意味は分からなかったんですけど、2,000万ぐらいの予算の中で委託料が1,950万ぐらいというのは書いてあるんですけど、丸っと委託で投げちゃって、そこでハード、ソフトとかを中で内分けるということなんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） 一応、予算上では、オンプレとLGWAN-ASPと2種類、予算の参考見積りということで事業者からいただいておりまして、予算上で計上したのはLGWAN-ASPのほうで計上をしておりますので、そちらのほうの金額となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 分かりますか。

清水委員。

○清水義昭委員 新しいハードウェアを導入するとかということはありませんか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） 今、クラウド方式のほうで予算計上しておりますの

で、ハードのほうで設置というのは、今のところ考えておりません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 清水委員。

○清水義昭委員 これを導入したときにソフトウェアライセンスとかが関わってくるんじゃないかなという感じがするんですけど、来年度以降、令和6年度以降も関わってくるようなライセンスというのがどうなるのかということ。ここで何年間分ライセンス料を払うのかとか、そういうことをお聞きしたいですが。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） 今年度の予算でもASP等使用料ということで130万ほど、これは4か月分を見込んでおるんですけども、1年分にしますと大体400万弱ぐらいが毎年かかってくるかなと思います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 今のことに関係して、こうやって公文書がペーパーレス化されていきますと、例えば、情報公開請求が出てきたときの公開は電子データとするのか、プリントしてするようなことになるのかどうかということと、それから、もう一点、図書室がいつぱいになってきて、公文書をなかなか、保存が難しいというような状況になってきていますけれども、これ、公文書がずっと減っていくということになると、保存年限の見直しなんかもしなあかんかなと思うんですけど、そういうことは検討されますでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答えられますか。答弁願います。

長野課長。

○情報システム課長（長野直之君） 現状は、どのシステムを選定しようかということで事務のほうを進めておるんですけども、運用に関してになりましては、また来年度に入りまして、総務課とか企画政策課とか、関係の所管の部署と運用のルールを決めていこうと思っておりますので、今のところはまだ決まっておりません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 資料ナンバー1の⑥、教育費営繕工事費関係の校舎屋上防水改修工事、この2件と、予算書の87ページの雑入の太陽光発電パネル撤去・再設置工事費負担金394

万9,000円の関係についてお伺いしたいんですけれど。

まず、⑥のほうに「別途太陽光発電パネル撤去、再設置工事あり（事業者見積）」とあるんですけど、まずお伺いしたいのは、ここでいう事業者見積りというのは、また別に費用がかかるという意味なのか、先ほど言われた金額の中に入っているのか。まずここについてお伺いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） こちらには、先ほど述べました金額に含まれております。いずれも含まれております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 次に、この工事は、太陽光のパネルの撤去が、要するに、耐用年数が来て、撤去が先あって、再設置工事をするから、そのついででという言言葉が適切じゃないかも分からないですけど、その際に、長寿命化対策の亀裂等あるいは経年劣化があるから、そのときに同時にやったほうが効率的だというような考えで設置されるのか、あるいは先に経年劣化の工事をやるから撤去してくださいというふうになるのか、これはどっちなんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） これは、まずは太陽光パネルのほうの経年劣化だとか交換ということは、全くこれには関係なく、我々のほうの防水のほうの経年劣化が起きていますので、防水工事をするには、現在載っております太陽光パネルをどけ、一度外さないとな適正な防水工事ができません。よって、防水工事をするために外していただき、防水工事が終われば、また戻していただくということでございます。ということで、両方の学校ともそういうことになっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 分かりました。防水工事が先だということですね。

ということで、もう一方、予算を見ると900万と2,100万で約3,000万かかるんですね。しかし、業者さんが負担する雑入の予算は約390万、約400万。これはどのような契約内容になって400万なんですか。3,000万かかって400万円というと、業者負担がめちゃくちゃ有利に働いているような気がするんですけど、そこら辺は。概略で結構です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 太陽光の撤去、再設置に係る金額は、雑入で見えます394万9,000円というのがこの両学校の合計でございまして、単純に言うと、2分の1負担いただきますので、この倍の数字、おおむね790万ぐらいが、2つの学校、豊明小学校、沓掛小学校の先ほど述べました金額の合計のうち790万ほどが太陽光パネルの撤去、再設置の金額ということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 ということは、パネルの撤去、再工事のところしか業者は負担しないと。その2分の1をという理解でよろしいのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 委員のおっしゃるとおりです。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 その契約というのは、雑入に入る業者さんの負担というのは2分の1という説明だったと思うんですけど、業者さん負担が2分の1で、本市があとの半分を負担すると。通常、屋根貸しの業者という理解でよろしいんですよね、ここでいう業者というのは。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 委員の認識のとおりで結構でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 校舎の屋根を貸して、発電されて売電されているんですけど、その業者さんからの、雑入以外に、毎月の賃料とかそういうのはあるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） こちらとしては、この関係に関する覚書のことだけです。申し訳ございませんが、賃料のことについては承知をしておりません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 土屋副市長。

○副市長（土屋正典君） 少し予算案を超える話になっちゃうかもしれませんが、入のほうに関しては、ごめんなさい、事業者、屋根貸しを実施している業者さんが2種類ありまして、一ところは、いわゆる行政財産の使用料という形で納めているところと、あともう一つは、その事業で出てきたお金、収益を地域づくり負担金というような、そんなような、補助金のような形で、市を通して募集して、地域の団体に還元しているというような形の入がございます。

この予算案に関して申し上げますと、あくまでもこれ、私どもの事情で、学校校舎の屋根の防水をやり直さないといけない。そのときに、屋根貸ししているところの業者さんがあるものですから、我々のところの事情で要はどうかしてくださいということになるものですから、ただ、そういうときの場合の約束事として、契約で、私どもの事情なんですけども、屋根貸しをしていてそこで事業収益もあるものですから、2分の1は負担してくださいねと、こういう約束事でやっているという事業でございますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じ資料ナンバー1、今の⑥の教育費営繕工事費の上から2段目の図書館の外壁改修工事についてです。

こちらを見ますと、工期が約半年、7か月ぐらいの契約期間ということですが、外壁改修、全面的なということで、その工事中の利用者、駐車場がかなりないときも通常でもあるわけですが、こういった利用者への工事中の何か変更というのか、考えていらっしゃいますか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 委員のおっしゃるとおり、工事中につきましては、建物の特に北側といいますか、裏の駐車場に関しまして、工事のヤードというか現場事務所等の設置を当然させていただきます。ですから、それ相応の制約はかかりますが、全てクローズというか、止めるわけではございません。当然、利用者のほうへはそれなりに御迷惑をおかけすることになるかと思えます。この辺りは図書館等とも協議させていただいた結果を設計図書に反映して、事業費に計上させていただいている次第でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。関連ですか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 そうすると、これは10款の図書館のところで聞けばいいのか分からないですけども、隣の豊明中学校の駐車場をいつも以上に開放するというのか、そういった利用者さんへの工事による影響のカバー、フォローはどういうふうに考えたらいいでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁できますか。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 詳しくは10款のほうでお尋ねいただければと思うんですが、そこら辺あたりも、当然、こういうことで制約をかけますよということで、事前に、設計図書をつくる中で協議をさせていただいております。図書館さんとしても当然それは承知をしておりますので、何かしらの対策は取られる可能性もあるということで、また詳しくは10款のほうでお願いします。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 ついでに同じ場所のところでいきます。

図書館の外壁の工事なんですけど、これは、さきに終わりました庁舎の外壁の方法とはまた違う工法を取られるということですか。お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 工法としては、同じ工法、メーカーは分かりませんが、ほぼ同じ工法とさせていただければ結構でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほど質問がありました、資料ナンバー1の⑥の3つ目と4つ目の校舎屋上防水改修の件で、これは、まず、ちょっと別のものになりますけど、資料ナンバーの1の④の2段目に長寿命化の調査があるんですね、各学校の。これ、調査をする前に、先にこれは長寿命化という改修をしてしまうのかどうか。そうすると、調査というのは、その部分を除いて調査するという認識でいいのかどうか、お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 3年度、4年度に関しましても、栄小学校を先行して長寿命化の前にさせていただきます。今回の豊明小学校、沓掛小学校においても、既に現状を鑑みて長寿命化を先行してやります。当然、もう一つは、調査、先ほどのもう一つ、調査委託ですね。そこの項目から、当然のごとく、やったものに関しては外すというのは当然普通の発注の仕方だと認識しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それがなぜ今回先行されるのかということと、ここを見ると、豊明小学校は北の部分だけで、沓掛小学校は東の部分だけというふうになっていますけど、そういった先行してやるのであれば全面をやったほうがいいのかと思うんですけども、この部分だけになっている理由はなぜなのでしょう。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） これは事前に、過去からの調査や状況の確認で、今、委員がおっしゃったように、その校舎を全てやったほうがいいのではないかという御意見もあったんですが、まず、豊明小学校につきましては、こちらの北部分の反対の南部分は、平成の28年度に防水改修工事をやっております。まだ5年程度ですので、まだよろしいかと思えます。もう一つの沓掛小学校の残りの西部分に関しましては、施工してから年数はたっているんですが、状況がそこまで、東と西の防水のやり方が違いまして、防水の工法が違いまして、まだそこまでの状況じゃなく、今後の長寿命化に包含をしてもいいという判断を現時点でしておりますので、ある一部分という形を取らせていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 予算書の35ページをお願いします。

歳入のほうに戻りますけれども、35ページの真ん中の地方交付税16億9,000万ということで、特別交付税も含めて大変大きな額が上がって、前年からかなり伸びております。最近、こういうふうに交付税が物すごく伸びておるんですけれども、今回、3億7,000万も普通交付税だけで伸びるとするのは、豊明市の収入額がそれほど伸びている、伸びているんじゃないかと、減っているとは思えませんので、需要額が伸びておることになるかと思うんですけれども、需要額のどういう部分が伸びてこのような交付税額の伸びになるの



か、その辺の説明をお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 普通交付税の予算額は国の全体の見込みから出して計算をしております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 国の全体の見込みの中では、例えば、高齢化が進んで高齢化対策のところの単位費用が伸びておるだとかというような、そういう説明も何もないんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 国からは、全体で1.7%増という見込みを出しております。そこから計算をしております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 全体で1.7%というと3億7,000万は物すごい率が高いかなと思うんですけど。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 4年度の実績から決算見込みというのですかね、そこから計算をしておりますのでこの額になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書113ページで企画事務事業のところですけど、ホームページにたしか上がっていた新規・臨時・既存拡大予定事業の中で、民間活用の推進事業の108万4,000円というのが上がっているんですけど、これはどこのところに当たるのかということと、来年度はどういったことに取り組むのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

青木課長。

○企画政策課長（青木由美枝君） まず108万4,000円につきましては、予算書の113ページ

の、企画事務事業の上から2行目の豊明市行政改革推進委員会等委員報酬の中にまず含まれているものがあります。こちらのほうにつきましては、民間活用事業推進アドバイザー報酬と民間活用事業推進審査委員会委員報酬を計上したことによって、94万1,000円についてが108万4,000円のうちの内訳となっております。

もう一つにつきましては、その2行下の費用弁償及び普通旅費、この中に民間活用事業推進アドバイザーの旅費相当になる費用弁償分を14万3,000円、この中に含まれておりますので、合計しまして108万4,000円というふうになっております。

来年度、どのようなことをというようにことなすけれども、民間活用事業推進アドバイザーにつきましては、令和4年の9月議会のほうで補正をお認めいただいておりますので、既に福祉体育館などの指定管理者の更新に向けてというようにアドバイスをいただいておりますので、そちらのほうを引き続きやっていただくということになっております。

民間活用事業推進審査委員会の委員報酬のほうにつきましては、現時点で想定している事業はありませんけれども、今後案件が生じた場合に対応することができるように予算計上したものです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 委員の皆さんにお伺いします。

まだ質疑はありますか。

（ありますの声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 この款というのか、この場所じゃなかったら、またその旨を教えてください。前に藤田医科大の濁池で、今度、災害用の水上パネルということで、濁池を、市の池を貸し付けると思うんですが、それはこの予算書の入のところで、使用料というのか、貸付け料というのはここに含まれているんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ふじえ委員、ここでは……。土木か総括で。

（土木ですぬの声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） はい。

（分かりましたの声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 111ページをお願いします。どこかで聞き漏らしておるかもしれませ

んけど、下から説明欄 3 行目の土地購入費2,948万6,000円、これは何でしたかね。

(課が違うの声あり)

○ごとう 学委員 失礼しました。

○予算特別委員長(近藤千鶴議員) ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書13ページの一番上の繰越明許費。これは館小学校の校舎建設の工事設計ということでしたけども、これがなぜ、これはたしか補正か何かで出てきたような気がするんですけど、なぜこれが繰越明許という、年度内が困難になった理由ですね。

それと、あと、校舎建設のスケジュールはどのようになっているのかお願いします。

○予算特別委員長(近藤千鶴議員) 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長(中田勝次君) では、まず、校舎建設の先にスケジュールから述べさせていただきます。建設、当然工事は6年度の予算になりますが、まず、建物を建てる前に、準備の工事というか、例えば、給水管の延伸だとか電気工事の延伸工事ということと実際の建物の建設工事という2つになります。まずは、夏休み等々を使いまして、そういう設備関係の延伸工事。それが終わりましたら、いよいよ本丸の建物の設置工事ということになります。

回答が逆になって申し訳ございません。最初の質問なんですけど、現在、補正前をお認めいただいた、まだ委託の、現在、期間中でございます。それが5月末が契約期間でございます。その成果品を持って、これ、今回、設計委託は当初予算なんですけど、順調にいけば7月末ぐらいに契約となります。そこから業務が発生しますの程度程度時間が必要だということと、この中には、建物を建てるための建築確認申請の申請等々の期間もございまして、これは建物を建てる直前になってきます。これは、ですから、4月以降に建築確認申請を現在予定しておりますので、繰越しということにさせていただきました。

以上でございます。

○予算特別委員長(近藤千鶴議員) ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 確認ですけれど、先ほどの地方交付税が、予算上3億7,000万増えて、私が最初質問しました臨財債が1億5,000万減っています。これは基本的には、国の基本的な方針ということが臨財債のさっき説明があつて、今の地方交付税のところもそのような感じの説明があつたということは、こういう理解をしてよろしいでしょうか。臨財債、本来、地方交付税で要するに地方の財源を再分配しなければならないものを、国が財源がないか

ら、臨財債でそれは手当てしなさいと。そういう基本的な方向が、国のほうが臨財債、地方の借金が増えてきたから、本来の地方交付税で元へ戻そうというような大きな流れの中で地方交付税が増えて臨財債が減ってきたと、こういうような考え方でいいのかどうか。基本的な考え方だけですけど。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 基本的にはそのとおりで、国のほうの税収が上がる見込みをしておりますので、もともと臨財債のほうは、国が税収の不足分を臨財債のほうで手当てするということなんですけども、税が好調だということに、そういう見込みをしておりますので、現金部分の交付税を増額して現金化するような、臨財債のほうを下げているということです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 83ページをお願いします。簡単な質問で申し訳ないですけど、一番下の競馬事業収益の配分収入、これは4,800万から7,200万ということでかなり伸びております。インターネットの関係で売上げが好調というようなお話は聞いておりますが、一応念のため、この増の理由、要因と、それから、豊明への交付率はどういうふうだったのか。その2点についてお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

萩野課長。

○財政課長（萩野昭久君） 売上げが好調ということで、特にネットのほう为好調ということを知っています。

配分率のほうなんですけども、28分の4になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの繰越明許費でちょっと分からなかった部分があるので。まず、令和6年の夏休み期間に一応建設は完成すると。そのためのスケジュールということで、設計の完成、設計書の要するに納品が結局遅れたからこれを繰越明許するような気がするんですけども、その理由を聞かせていただきたいんですけども。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） まず、設計書が遅延したからということではございません。当然、先ほど御説明しましたとおり、業務としては7月末契約で、今年度、8月ぐらいから業務をしていきます。その中で2段階の成果品を頂く予定をしております。

まず、2段階というのは、先ほど述べました、準備工事と本丸の建設工事。時間がずれます。あくまで、ほぼ本年度内に、最初に発注します夏休みに工事しなきゃいけない準備工事の成果品を出していただいて、それでまず準備工事の発注をする。その後、引き続き、まだ建物のほうの設計成果及び、先ほど述べましたとおり、建築の確認申請だとか、その他もろもろ、関係法令の申請がございますので、その期間を取るのので年度を越える、いわゆる繰越しになるということでもありますので、今の委託が遅れているとか、そういうことでは決してございません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ということは、もともとそういうふうには2段階でやっていくということなんですかね。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 委員おっしゃるとおりです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて2款 総務費のうち行政経営部、出納室、監査委員事務局所管部分の質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために暫時休憩といたします。

午前11時42分休憩

午前11時45分再開

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、2款 総務費のうち市民生活部所管部分について、順次説明を願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） それでは、2款 総務費のうち総務課所管の主な事項につい

て御説明をいたします。

歳出より御説明いたしますので、予算書の100ページ、101ページを御覧ください。

2款1項1目 一般管理費の2段目、庁舎管理事業は2,898万4,000円で、前年度と比較して697万4,000円の増額です。

主なものとして、右の説明欄、庁舎警備委託料974万6,000円は、市役所本庁舎の開庁時以外の庁舎警備を委託するものです。その2行下、窓口案内業務委託料1,103万2,000円は、市役所正面玄関での総合受付、代表電話受付の業務となります。この2つにつきましては、令和5年度から新規での3年の長期継続契約が始まるため、予算を上げる要因となっております。

1ページおめくりいただき102、103ページの2段目を御覧ください。

一般管理事務事業269万1,000円は11万7,000円の増額です。主な事業としましては、右の説明欄、4つ目の項目、弁護士委託料79万2,000円につきましては、行政手続において法律の専門家からアドバイスが必要な場合に弁護士に相談するための業務となっております。

次に、2ページめくっていただきまして106、107ページを御覧ください。

一番上の欄になります。文書費は2,486万9,000円で364万9,000円の減額です。主なものとして、右の説明欄、行政手続整備支援業務委託料187万円につきましては、市が法律や条例に基づいて行う許認可等の申請に対する処分について、その処分基準や標準処理期間を設定し、各処分に対して個票を作成する補助をしていただくものです。対象となる処分につきましては、市役所の業務が大きく関わってきますので800から1,000件ぐらいを予定しております。

続きまして、108、109ページを御覧ください。

109ページの最下段になります。庁舎維持管理事業1億450万3,000円は、2,502万9,000円の増額です。主なものとして、右の説明欄、この事業の下から4番目の項目になります。光熱水費4,978万8,000円につきましては、令和2年2月以後、供給が不安定で高騰し続けている電気とガス等の使用料金が主なものとなっております。

1ページおめくりいただきまして110ページ、111ページを御覧ください。

こちらの機械保守委託料1,993万7,000円は、市役所庁舎の空調、消防設備、電気工作物、あと、庁舎の設備を適正に稼働させるための保守委託料となっております。

その下の欄、公用車管理事業3,125万2,000円につきましては306万4,000円の減額となります。主なものとして、右の説明欄、この事業の7行目になります。公用車運転業務委託料1,500万円につきましては、市長車、議長車、マイクロバスの運行管理を委託するものとなっております。

その3つ下、自動車購入費330万1,000円につきましては、公用車2台の購入のほうを予定しております。

その下、財産管理事務事業4,035万4,000円は、対前年比で2,892万4,000円の増額となっております。主なものとしまして、右の説明欄、下から3行目、土地購入費につきましては、旧沓掛保育園の用地と市役所の第2駐車場の土地の一部を購入するためのものとなっております。

少し飛びまして130ページ、31ページを御覧ください。

一番下の枠となります。愛知県議会議員選挙費2,550万3,000円につきましては、令和5年4月29日に任期満了となる愛知県議会議員選挙の執行経費として計上しております。

続きまして、次のページ、132ページ、33ページを御覧ください。

こちらの下の段につきましては、市長、市議会議員選挙の執行业として5,628万9,000円、こちらは令和5年4月29日に任期満了となります市長、市議会議員の選挙の執行経費として計上しております。

次に、主な歳入を御説明いたしますので70ページ、71ページを御覧ください。

15款 県支出金、3項1目3節 選挙費委託金、右の説明欄になります。愛知県議会議員選挙委託金としまして2,550万3,000円で、先ほど歳出で御説明しましたものと同額のを計上しております。

最後に、債務負担行為について御説明しますので13ページを御覧ください。

第3表 債務負担行為の2番目、豊明市土地開発公社公共用地先行取得事業につきましては、平成25年に公社で取得しました市道大根若王子線の用地の取得、補償費及び利子、事務費等に相当する額について債務負担をお願いするものとなっております。

以上で総務課所管の分の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 松本課長。

○市民協働課長（松本小牧君） それでは、市民協働課所管分について歳出より御説明いたしますので、予算書116ページ、117ページ、最下段を御覧ください。

2款1項11目 市民活動推進費は、前年比591万5,000円の増額です。

それでは、主なものについて御説明いたします。

117ページ、市民活動推進事業は、予算額7,223万8,000円で、対前年比440万7,000円の増額です。これは、119ページ、説明欄、最上段、共生交流プラザの指定管理料につきまして、今年度10月より追加配置いたしましたこどもあそび場巡回スタッフを当初予算に反映したことに伴う増額です。

続いて、119ページ、最下段、3 区長会事業は7,151万9,000円で、対前年比149万8,000

円の増額です。これは121ページ、説明欄、上から3つ目の区一括交付金について、特定財源として交付しております防犯灯電気料金について、算定基準となっている今年度の実績上昇に伴い増額するものです。

続いて、136ページ、137ページを御覧ください。

2款5項3目の諸統計調査費は498万円で、対前年比308万9,000円の増額です。これは令和5年度に実施されます住宅・土地統計調査に係る費用の計上によるものです。

続きまして、歳入の説明をいたしますので54ページ、55ページを御覧ください。

上段、14款 国庫支出金、4項1目 総務費国庫交付金、1節 市民活動推進費交付金、説明欄、外国人受入環境整備交付金は、外国人居住環境を整備するために実施する通訳や翻訳業務等に係る経費の国庫負担金です。

続いて、70ページ、71ページを御覧ください。

15款 県支出金、3項1目 総務費委託金、4節 統計調査費委託金は、歳出で説明いたしました各種統計調査に係る委託金でございます。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 続きまして、防災防犯対策課所管分の主なものについて御説明させていただきます。

予算書120、121ページをお願いいたします。

2款1項13目 防犯対策費ですが、対前年度比702万3,000円の減となります。主な減額要因ですが、令和4年度は駐輪場再整備事業を実施するに伴い、前後駅周辺に20基防犯カメラを設置する工事費803万円を計上していたためです。

次に、138、139ページをお願いします。

2款7項1目 交通安全対策費でございます。対前年度比1億422万5,000円の大幅減となっております。主な減額要因ですが、令和4年度は駐輪場再整備事業負担金8,800万円、自転車等整理業務委託料837万5,000円など駐輪場再整備事業を実施するための費用を計上していたためです。

次に、歳入の主なものについて御説明させていただきますので42、43ページをお願いいたします。

右側説明欄の中段より少し下の放置自転車返還手数料16万8,000円は、令和4年10月から実施しております放置自転車の所有者への返還に当たり徴収している手数料でございます。

以上で説明を終わります。



○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 加藤課長。

○税務課長（加藤健治君） それでは、税務課所管分について歳出から主なものを説明します。

予算書124、125ページを御覧ください。

124ページ上段、2款2項1目 税務総務費を説明いたします。

次の125ページを御覧ください。

一番左の事業欄の上段のほう、2 地番家屋現況図修正事業は、前年比526万8,000円の減額です。主な要因は、3年に1度行う航空写真撮影業務委託を前年度、令和4年度ですけれども、に実施し、完了したことに伴う減額でございます。

その下の欄、課税計算事業は、課税システムの保守、納付書の作成などの電算関係委託料で、前年比291万3,000円増額いたしました。主な増額の要因は、税制改正に伴う特別徴収額通知電子化のためのシステム改修を行うためでございます。

その下の欄、税務総務事務事業は、前年比1,270万7,000円の減額でございます。主な理由は、説明欄の真ん中ほどにあるんですけども、標準地鑑定業務委託料、これが前年比で約1,120万円減額しておりまして、これは評価替えに向けて3年に1度行う市内の標準宅地の全件鑑定評価の業務委託が、前年度、これも令和4年度ですけれども、令和4年度に完了したことによるものでございます。

次に、歳入を説明いたしますので22、23ページを御覧ください。

歳入について主なものを税目別に説明します。

22ページ上段を御覧ください。

1款1項1目 個人市民税です。右のページ、23ページの現年課税分として、前年度と比較して約5,400万円増額といたしました。新型コロナウイルス感染症の影響で停滞ぎみであった景気が回復傾向にあるというふうを考えて、税収についても、令和5年度は若干増額といたしました。

その下、2目 法人市民税現年課税分につきましては、前年度と比較して約9,000万円増額といたしました。主な要因は、個人市民税と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと思われる市内大手企業の業績が回復してきているというふうに見られており、税収の増額を見込みました。

その下、1款2項1目 固定資産税現年課税分は、前年度と比較して約8,000万円増額といたしました。主な要因としては、土地の地目変更に伴うもの、家屋の新築によるもの、償却資産の増を見込んだものというふうにしております。

1枚めくっていただいて、24、25ページを御覧ください。

24ページの中段、1款3項 軽自動車税でございますけども、環境性能割現年課税分、種別割現年課税分ともに増額といたしました。これは軽自動車の取得台数が増えているというふうに考えられること、また、種別割では、平成26年度の税制改正によって税率が上がった影響が大きな要因というふうに考えております。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 小川課長。

○債権管理課長（小川正寿君） 続きまして、債権管理課が所管する歳出予算から説明いたしますので、予算書124、125ページ、最下段、徴収費を御覧ください。

125ページ、最下段、中央、1 徴収計算事業は3,994万3,000円を計上し、令和4年度に比べ2,338万4,000円の減額となります。理由としては、令和4年度に地方税共通納税システム拡充に対応するシステム改修が終了し、令和5年度は電算関係委託料のシステム改修分が減額となったためでございます。

めくっていただき、127ページ、上段中央、2 徴収事務事業1,823万円を計上し、令和4年度に比べ10万5,000円の微増となっております。

続きまして、歳入を説明いたしますので22、23ページを御覧ください。

市税の滞納繰越分の主なものについて説明いたします。

23ページ、上の表、2段目を御覧ください。

個人市民税の滞納繰越分ですが4,620万円を計上いたしました。これは令和4年度に比較して180万円の減額としました。徴収率向上に伴い、収入未済分、いわゆる滞納額が減少していることから減額とさせていただきました。

1ページおめくりください。

25ページ、最上段、固定資産税滞納繰越分ですが1,870万円を計上しました。これは令和4年度と比較して330万円の減額といたしました。こちらもいわゆる収入未済分、滞納額が減っていることや公売対象案件などの増加、時間を要する徴収困難事例が増えてきていることも鑑み減額とさせていただいております。

以上で債権管理課の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 杉浦課長。

○市民課長（杉浦由季君） それでは、市民課所管分について歳出から説明いたします。

予算書の128、129ページを御覧ください。

2款3項1目 戸籍住民基本台帳費の右ページの中段、2 住民記録電算処理事業は、前年比6,183万3,000円の減額です。主な要因は、戸籍総合システム更新事業とコンビニ証明書発行交付事業が完了したことによるものです。また、戸籍情報システム改修事業321

万2,000円増額で、当初予算の概要、20ページに記載してありますので、後ほど御覧ください。

同事業の説明欄、下から2つ目、戸籍総合システム等使用料は482万3,000円の増額です。主な要因は、前年度の戸籍総合システムの更新によりクラウド使用料が2年目となり、12か月分が計上されたことによるものです。

下段、3 戸籍住民基本台帳事務事業は701万7,000円の増額です。主な要因は、新たにマイナポイント申込支援等業務委託料663万9,000円を計上したことによるものです。

次に、歳入を説明いたしますので48ページ、49ページを御覧ください。

14款 国庫支出金、2項1目1節 戸籍住民基本台帳費補助金の個人番号カード交付事務費補助金1,444万9,000円は、前年度とおおむね同額です。下段、社会保障・税番号制度システム整備費補助金321万2,000円は、歳出で御説明いたしました戸籍情報システム改修事業の補助金として、補助率は10分の10の予定です。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明は終わりました。

ここで、会議の途中ですが、昼食のため13時5分まで休憩といたします。

午後零時4分休憩

午後1時5分再開

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

質疑のある方は挙手を願います。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 13ページをお願いします。予算書13ページ。上から2つ目の債務負担行為の土地開発公社の先行取得事業のところですが、限度額のところに用地取得費、補償費1,912万3,000円、それから、利子、事務費に相当する額というふうにありますけれども、用地取得費が幾らで補償費が幾らかということと、この土地の場所は、たしか間米辺りの土地だったかなと思いますが、土地の場所と面積を教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） すみません、補償費等は、資料は手元にあるんですけども、公社の関係なものですから後ほどお答えをさせていただくとしまして、場所につきましては、間米町鶴根地内にある土地となっております。面積が174平米です。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書43ページの歳入で、放置自転車の返還手数料で、これが、昨年というか、令和4年度と比べると倍になっているんですけども、倍になっている理由と、これは何台分で見積もってあるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） まず、倍になっている理由ですけども、これは去年の10月から始まった制度になっておりますので、今年については丸々1年ということで、倍という形で計算させていただいております。

予算としてということですかね。すみません、こちら予算につきましては、自転車と原付でちょっと分かれておりまして、自転車が1,000円になっております。これが120台。原付につきましては2,000円で掛ける24台ということで、合わせて16万8,000円という形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 駐輪場が駅前、整備されて、前後駅周辺なんかは禁止区域が広がったのもあると思うんですけども、そういった禁止区域の巡回だったりとか、そういうのはやっているのか。予算にそういったものというは上がっているんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 当然ながら10月からやっております。令和5年度につきましても、139ページをお願いしたいんですけども、駐輪場維持管理事業の中にあります放置自転車等撤去処分業務委託料、こちらのほうに該当しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の111ページの財産管理事務事業の下から3行目、土地購入費の2,900万円余についてお尋ねします。

説明のときには、市役所第2駐車場、あと、旧沓掛保育園借地、それぞれ購入ということでしたが、それぞれの面積と坪単価、あと、買取りした後の使い道についてお願いしま

す。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） それでは、それぞれの土地について御説明をさせていただきたいと思います。

まず、旧沓掛保育園の用地につきましては、面積が174平米となっております。坪単価につきましては、いつも議会で御公表のほうをしていないものですから、そこは差し控えさせていただきたいと思います。

第2駐車場につきましては、今回対象となっておりますところにつきましては154平米となっております。使い道につきましては、沓掛保育園の用地につきましては、面利用としましては防災の拠点、倉庫の部分だけ残るようになりますので、そういった活用のほうを想定しております。

第2駐車場につきましては、そのまま駐車場としての活用を検討しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 関連ですけれども、その111ページの第2駐車場の一部ですけど、一部ということはまだあるということなんですけど、ほかの借りている土地につきましても、購入の方向であるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 委員のおっしゃるとおりです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 今の関連で、たしか第2駐車場は、丸々、もともと借地だったと思うんですけども、全体何平米のうち、これで何平米購入したことになるのかということをお教えください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 全体で1,710平米ございまして、今回が154平米の購入の予定でおります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 これが初めてですか。累計の数字はないですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 今回初めて売却の意向が示されましたので、初めてのケースとなっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書のページが23ページです。

歳入の市民税のところで、滞納繰越分が、それぞれ個人も法人も減っているということなんですけれど、先ほどの御説明を聞いていて、経済状況は回復傾向で、現年度分の税収が増額というふうにおっしゃってました。それを聞いて思ったのは、過去の滞納分の繰越しなので、5年度に経済状況や所得が多くなったことによって過去の滞納繰越分を積極的に払う個人や法人が多くなって、滞納繰越分についても増えるのかなと思ったんですけど、その辺の見込みというのの考え方を教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川課長。

○債権管理課長（小川正寿君） 経済状況によって滞納の解消というところも想定されまじすけれども、それ以上に滞納額が減っているという状況でございます。例えば、個人市民税の滞納繰越分180万円ほど減額としておりますけれども、滞納額については、通常、滞納繰越分は収納率が50%ほどですので、その倍の360万以上は大きく減るという見込みを立てております。経済状況も見据えた上で減額幅は小さくしておるということで御回答いたします。失礼しました。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 今年度の、例えば後半の半年間なんかの様子を見ていて、そのような傾向があるから、そもそも、令和5年度からすれば過去の滞納になるであろう、そのものが減ってきているという、そういうことでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川課長。

○債権管理課長（小川正寿君） そのとおりです。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 先ほどごとう委員から御質問を受けました債務負担行為の件で、数字のほう分かりましたのでお答えしたいと思います。

間米の土地のほうですけれども、土地の代金としまして1,439万円、補償費としまして473万3,000円、合計で1,912万3,000円というふうになっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 23ページの市民税のところですけども、個人市民税の中でふるさと納税の影響があるかなと思うんですけども、それをどれぐらいで見積もっているかということと、あと、法人税のほうも、今後、ふるさと納税の影響もあるのかなと思っているんですけども、その辺りはどれぐらいの影響額を見込んでいるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

加藤課長。

○税務課長（加藤健治君） 個人市民税につきましては、令和3年度の課税の結果が3,500人程度で約1億4,000万程度、令和4年度の課税につきましては4,600人程度で約1億8,000万程度ということを受けて、令和5年度課税につきましては5,500人程度、約2億円ぐらいではないかということを見込んでおります。

法人税につきましては、この算定の中では、特にふるさと納税については見込んでおりません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書125ページ、2款2項1目 徴収の地方税共同機構が、市町合同でやっている滞納整理機構の後の取組でしたよね。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

加藤課長。

○税務課長（加藤健治君） 125ページの税務総務事務事業の一番下から3つ目の地方税共同機構のことで滞納整理機構のことは関係はございません。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 25ページをお願いします。環境性能割、真ん中辺、1,920万円ということで、これは前年が740万円ですので物すごく上がっていて、先ほど、軽自動車の取得増と税率アップということでしたけれども、台数の増はどのぐらい。

それから、税率アップは、環境性能割がなくなって税率アップが上がるということだったかどうかということと、どういうふうになるかということをお教えください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

加藤課長。

○税務課長（加藤健治君） まず、台数なんですけども、これは県が徴収しておいて、金額しか県は情報をくれません。ですので、台数については分かりません。それが一つ。

税率ですけども、令和3年12月まで軽減税率の経過措置がありました。これが令和4年1月からなくなりまして、今現在は非課税と1%、2%という区分になっております。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書の23ページの一番下の固定資産税のところですけども、たしか令和4年度のところで評価替えの予算が上がっていたと思いますけど、なので、今年度評価替えをしているかと思うんですが、その影響も計算されて固定資産税の金額というのを見込んでいるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

加藤課長。

○税務課長（加藤健治君） 令和3年度の評価替えといったことでよろしいでしょうか。

（はい、お願いしますの声あり）

○税務課長（加藤健治君） 次回の令和6年度ではなくてですね。令和3年度の評価替えの影響込みで、それを課税標準等をベースにして令和4年度、5年度というものを算定しております。

終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 予算書の117ページの一番下になると思うんですけど、市民活動推進事業の中で、市民の方たち、市内の団体の方たちに貸し出しているような備品の購入が多分



ここに含まれているんじゃないかなと思うんですけど、令和5年度はどのようなものを購入するような予定がありますでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

松本課長。

○市民協働課長（松本小牧君） 委員がおっしゃっているのは市民活動に対する備品の貸出し制度のことかと思いますが、その件に関する備品購入に係る経費は本年度の予算には計上してございません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 101ページをお願いします。一番下の庁舎管理事業で、上から2つ目と3つ目、庁舎管理業務委託料と窓口案内業務委託料、これは長期継続契約に切り替わって予算を上げるというようなふうな先ほど説明だったと思うんですけど、窓口案内業務委託料なんかは674万から1,100万というふうに物すごく伸びていますが、一般的にいうと長期継続にすると安くなるわけですが、これは多分、ほとんどが人件費だと思うので、人が増えるとかそういうことがあるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 委員のおっしゃるとおり……。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） マイクをお願いします。

○総務課長（山田隆貴君） 委員のおっしゃるとおり、窓口案内業務につきましては、現在、お昼の時間帯に2人体制が保たれておられない状態になっておりますので、人数の増員のほうがかかっております。

庁舎警備につきましては、基本的に内容は変わっておりません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 129ページの住民記録電算処理事業で、戸籍総合システムの使用料がこれも倍近く上がっているのので、この増額の理由と、あと、その下の諸負担金もかなり、倍近く増えていますので、この理由と諸負担金の中身を簡単にお聞かせください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

杉浦課長。

○市民課長（杉浦由季君） 戸籍総合システム等使用料の増額なんですけれども、こちらが戸籍総合システムをクラウド化にすることにより、毎月、クラウド利用料及びクラウドネットワーク利用料が必要となり増額となったものです。

そして、諸負担金に関しましては、コンビニ交付運営負担金を地方公共団体情報システム機構に支払う必要があります。こちらの金額なんですけれども、金額は自治体の人口規模で負担金が決まっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 109ページをお願いします。一番下の光熱水費、先ほど、令和2年の2月から電気料金が高騰しているからということなんですけれども、前年が2,380万ですので倍以上にこれは増えておるわけなんですけれども、国が電力料金の負担を減らすように電力会社に補助して値上げ幅を抑えるとかというようなことが行われておると思いますけれども、こういう行政の電気料金にもそういったものが適用されて、その分は幾らか抑えられているのかどうかということと、LEDを急いで整備を進めていくということでしたけれども、そのことによる減少分を幾らかこれで見込んだ結果こうなったのかどうなのか、そのことについてお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 電気料金につきましては……。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） マイクをお願いします。

○総務課長（山田隆貴君） すみません。電気料金につきましては、まず、安定的に供給をされないといけませんので、今までこのようにしている電気がそのままつけれるような形で予算要求をさせていただいております。

国からの補助については、特に今のところ、そういったものは私はちょっとそれは把握していないものですから、その分がなしという形で積算をさせていただいております。基本的な積算は、4年の9月議会の補正予算で組ませていただいた燃料調整費等が非常に高騰しておりますので、高止まりをしておりますので、そこを勘案しまして令和5年度予算を組ませていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（すみません、あと、LEDの……の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） LEDの工事につきましては、総務課の管轄している予算範囲内で……。

（LEDの効果も考えられているかの声あり）

○総務課長（山田隆貴君） LEDの効果につきましては一定量あると思いますけれども、現在、まだ少量の交換となっておりますので、その分については今のところ勘案されておらず、従来どおりの電気使用量を想定して積算しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて2款 総務費のうち市民生活部所管部分の質疑を終わります。

ここで理事者側の説明者の入替えのため暫時休憩といたします。

午後1時24分休憩

午後1時27分再開

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、3款 民生費について、順次説明願います。

近藤課長。

○地域福祉課長（近藤有紀子君） それでは、令和5年度一般会計当初予算の地域福祉課所管分につきまして御説明いたします。

初めに、歳出の主な新規増加事業について御説明いたしますので、予算書の150ページ、151ページをお開きください。

151ページ下段、3目 心身障害者福祉費、心身障害児者福祉推進事業の右側説明欄の8項目め、障害福祉計画等策定委託料275万円につきましては、第4次豊明市障害者福祉計画等の策定に係る委託料でございます。

続きまして152ページ、153ページをお開きください。

153ページ上段、心身障害児者扶助事業、総額18億1,703万円と前年度比3,700万円程度増額いたします。これは、主に右側説明欄の中ほど、訓練等給付費、それと一番下、心身障がい児通所・居宅サービス事業費の増額によるものです。

続きまして、154、155ページをお開きください。

155ページ上段、心身障害者事務事業でございます。

右側説明欄の一番上、手話通訳業務の増額につきましては、聴覚障がい者のニーズの多様化に対応するため窓口への手話通訳者の配置を週3回に増加するものです。

続きまして、主な歳入の動きについて御説明いたします。

44ページ、45ページをお開きください。

45ページ下段、心身障害者福祉費負担金、障害者自立支援給付金等国庫負担金、その下の障害児入所給付費等国庫負担金は、歳出で御説明いたしました心身障害児者扶助事業の訓練等給付費、心身障がい児通所・居宅サービス事業費の2分の1でございます。歳出の増額に伴い増額しております。

続きまして、56ページ、57ページをお開きください。

先ほど歳入の国庫のほうで御説明いたしましたとおり、県費につきましても4分の1の負担がございますので、同様に増額するものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） それでは、保険医療課所管分の歳出から主なものについて御説明いたします。

予算書144、145ページを御覧ください。

右ページ中段、3款1項1目 社会福祉総務費の国民健康保険特別会計繰出事業です。

説明欄を御覧ください。

保険基盤安定繰出金の保険税軽減分、保険者支援分は、それぞれ前年度より増額としております。

職員給与費等繰出金と出産育児一時金等繰出金については、国保特別会計での総務費及び出産育児一時金の減額計上により前年度より減額となっております。

一番下のその他国民健康保険特別会計繰出金は、前年度とほぼ同額で、繰出金全体では前年度より910万4,000円の減額となっております。

続いて、154、155ページをお願いします。

下段、4目 福祉医療費で前年度より1,688万4,000円の増額です。

これは、主に福祉医療助成費の増額見込みによるものです。

1枚おめくりいただき、次のページをお願いします。

5目 後期高齢者医療費は、前年度より6,487万4,000円の増額です。増額の主な要因は、説明欄の1つ目、後期高齢者医療療養給付費負担金で、被保険者数の増による医療費の増額を見込んでおります。

続いて、歳入を御説明いたしますので、44、45ページを御覧ください。

14款1項1目 民生費国庫負担金、1節 心身障害者福祉費負担金の説明欄の上から2つ目、障害者医療費国庫負担金は、自立支援医療費等の国負担分になります。

次のページ、5節 国民健康保険基盤安定負担金及び6節 国民健康保険未就学児均等割保険税負担金は、国保特別会計へ繰り出す低所得者の影響分及び未就学児均等割保険税減額分に対する国の負担分です。

続いて、56、57ページを御覧ください。

15款1項1目2節 心身障害者福祉費負担金の説明欄、障害者医療費負担金は、自立支援医療費等の県の負担分となります。

1枚おめくりいただき、次のページをお願いします。

6節 国民健康保険基盤安定負担金及び7節 国民健康保険未就学児均等割保険税負担金は国庫と同様に国保の低所得者影響分及び未就学児均等割保険税分の繰り出しに対する県の負担分となります。前年度より合計で426万3,000円の増額を見込みます。

その次、8節 後期高齢者医療保険基盤安定負担金は、後期高齢者医療特別会計へ繰り出す低所得者軽減分の県の負担分で、前年度より219万1,000円の増を見込んでおります。

続いて、62、63ページを御覧ください。

4節 福祉医療費補助金は、障害者医療費など福祉医療助成費の2分の1相当額が県から助成されるものです。前年度と比較して、障害者医療費と後期高齢者福祉医療費は減額を子ども医療費と母子家庭等医療費は増額をそれぞれ見込んでおります。

以上で説明終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） それでは、長寿課所管分について御説明いたします。

歳出より御説明いたしますので、予算書の144、145ページを御覧ください。

3款1項2目 老人福祉費の歳出総額は10億2,105万3,000円で、前年度比1億9,965万1,000円の減額となっております。

それでは、主なものについて説明させていただきます。

145ページ、1 老人福祉事業は2億5,329万9,000円の減となっております。令和4年度に計上していた介護施設等整備事業費補助金分の減額が主な要因となっております。

次に147ページをお願いいたします。

3 老人扶助事業は395万4,000円の増額で、これは、主に説明欄4段目の老人保護措置費について、対象人数の増に伴い増額となっているものです。

その下、4 老人福祉事務事業は141万8,000円の減額で、主に説明欄4項目めの通信運搬費及び下から3項目め、電算関係委託料の減と一番下、機器借上料の増との相殺などに

よるものでございます。

また、老人憩いの家の施設の大半を地域譲渡し、事業費が減少したことから老人憩いの家管理事業の各項目を老人福祉事務事業へ移しております。

次に、149ページを御覧ください。

7 地域包括支援体制事業は735万4,000円の増で、説明欄2項目めの電算関係委託料が312万7,000円の増、その下、地域包括支援センター業務委託料が400万円の増となっています。

なお、この表中、6 地域介護予防活動支援事業から、8 生活支援体制整備事業までの項目は、いずれも重層的支援体制整備に伴い、介護保険特別会計から一般会計に移した事業となっております。

最下段、9 介護保険特別会計繰出事業は4,564万7,000円の増額となっています。これは、介護給付費等の増などの影響によるものでございます。

続きまして、歳入の主なものについて御説明いたします。

予算書の46、47ページをお願いいたします。

下から2段目、14款1項 国庫負担金、1目7節 老人福祉費負担金は、介護保険料第1から第3段階の方の軽減分として、国庫が負担するものでございます。同じく、この県費分といたしましては、58、59ページが該当することとなります。表の中段辺り、15款1項 県負担金、1目9節 老人福祉費負担金はその県費分に当たるものでございます。

78、79ページをお願いいたします。

一番下、18款2項1目 介護保険特別会計繰入金は、歳出で御説明いたしました重層的支援体制整備に当たり、介護特別会計から移行した3つの事業の財源として、65歳以上の保険料及び40歳以上65歳未満の保険料である支払基金交付金について、それぞれの事業相当分を介護保険特別会計から繰り入れるものでございます。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） それでは、子育て支援課所管分につきまして、歳出より御説明いたします。

予算書の156、157ページを御覧ください。

下段の3款2項1目 児童福祉総務費、2 児童館等管理運営事業、前年度比83万7,000円の増額となっております。

主な要因について御説明いたします。

1ページめくっていただき、159ページの説明欄を御覧ください。

上段の下から2つ目、児童遊園地遊具等撤去工事費は4か所の児童遊園地について、安全から遊具等を撤去するものです。

続きまして、同じページの3 児童福祉事務事業は、前年度比1,668万7,000円の減額となっております。

主な要因について御説明いたします。

1 ページおめくりいただき、161ページの説明欄を御覧ください。

上段の下から2つ目、児童扶養手当と同じく5つ目の児童手当費は支給対象の見込み数により、それぞれ児童扶養手当が前年比600万円、児童手当が1,929万円の減額となっております。

同じ説明欄の上から2つ目、児童発達支援センター事業委託料につきましては、カラット内の児童発達支援センターどんぐりにおいて、職員を増員し、機能強化を図り、児童発達支援の中核的役割を果たすため948万円の増額となっております。

続きまして、歳入について御説明いたします。

44、45ページを御覧ください。

14款1項1目2 児童福祉費負担金、47ページの説明欄を御覧ください。

児童扶養手当負担金及び児童手当負担金は、それぞれ前年と比べて減額となっておりますが、これは、先ほど歳出で御説明しました減額によるものです。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 塚本課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） それでは、こども保育課所管分について御説明いたします。

初めに、歳出から御説明いたしますので、予算書の160、161ページをお願いいたします。

下段、3款2項2目 保育園費です。保育園費全体といたしましては、前年度より372万円の増額となっております。保育人件費を除きますと保育事業といたしましては、前年度比740万6,000円の減額となっております。

主な要因について御説明いたします。

1 ページめくっていただき、163ページ説明欄を御覧ください。

下から12行目、調査測量設計等委託料145万9,000円は、内山保育園民営化に当たり保育園用地を貸すために、土地の面積を確定する必要があるために測量するものでございます。

1 ページおめくりいただき、165ページをお願いいたします。

上段の1行目、民間保育所等運営費補助金1億439万3,000円のうち、新規の補助といたしまして、使用済みの紙おむつの処分費等補助するものとして約142万円、外国籍児童の増

加に伴う通訳ボランティア配置への補助として120万円がございました。

また、下から4行目、施設等利用費は、前年度比1,364万7,000円の減額です。

これは、新制度未移行幼稚園の授業料、入園料などの利用費で、決算額を参考に減額したものでございます。

その下、派遣保育士負担金1,331万2,000円は、令和6年度より民間へ移行する内山保育園で配属予定の保育士が内山保育園で保育の引継ぎをしていただくための負担金です。

続きまして、歳入の主なものについて御説明いたします。

46ページ、47ページをお願いいたします。

上段、14款1項1目3節 保育園費負担金、説明欄2段目、子育てのための施設等利用給付費国庫負担金は、前年度比558万3,000円の減額です。歳出で御説明いたしました施設等利用費の減額のためでございます。

50ページ、51ページをお願いいたします。

上段、14款2項2目 民生費国庫補助金、4節 保育園費補助金、説明欄2段目、保育対策総合支援事業費補助金は、前年度比793万8,000円の減額です。これは、主に民間の保育所等改修事業への補助が完了したことによるものです。

以上で、こども保育課所管分について説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明は終わりました。

3款 民生費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

中村委員。

○中村めぐみ委員 159ページの上段の児童遊園地遊具等撤去工事費についてなんですけれども、先ほど4か所という説明があったんですけれども、どこの児童遊園地で、どのような遊具なのかについてお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 撤去するものにつきましては、ブランコ、砂場などになっております。あと、どちらの児童遊園地かということでよろしかったでしょうか。

（うんの声あり）

○子育て支援課長（松村清子君） ちょっと後ほど答えさせていただきます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

中村委員。

○中村めぐみ委員 その下の中部水道企業団加入分担金というのが新規で上がってきてい



るんですけど、これはこの児童遊園地に関連があるのか、関連がなくてもこの内容についてもお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） こちら中部水道企業団加入分担金なんですけれども、児童遊園地のことではなくて、南部児童館のトイレの整備におきまして、メーター等の変更が必要になりますので、それに関しての分担金となります。中部水道企業団のほうから指定の金額が示されておりますので、そちらを計上させていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 143ページの真ん中の地域共生社会推進事業の委託料、これは、確か重層的体制支援の委託の金額だと思うんですけども、これが昨年よりもちょっと増えているんですけども、また何か特に来年度取り組むことが何かあるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

近藤課長。

○地域福祉課長（近藤有紀子君） この事業につきましては、今年度は早急に対応を迫られている複合的要因を抱える困難事例につきまして、その解決対応と連携体制の整備と人材育成を中心に実施してまいりました。その中で、医師ですとか弁護士とか司法的な相談等も必要とする場合も、ケースも出てまいりましたので、今年度後半よりスーパーバイズ相談会としまして、医師、弁護士、司法書士等による相談も実施してまいりました。

来年度につきましては、そうしたことをより本格的に稼働するために増を見込んでいるものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 147ページの3の老人扶助事業の中の真ん中、老人保護措置費のこの詳細をちょっと教えていただきたいんですけど。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） これは、盲養護老人ホームへの入所の方に対するものでございます。今年度途中までは2名だったものが、この12月から3名になったことに伴いまし

て増になったものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） お時間いただきすみません。先ほど、御質問いただきました児童遊園地の遊具撤去の場所ですけれども、泉団地児童遊園地、それから内山、吉池八剣社、館北となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤善人委員。

○近藤善人委員 165ページ、派遣保育士負担金の1,300万円なんですけど、これの詳細をお願いいたします。何名とか詳細分かればお願いいたします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚本課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） 派遣保育士のほうは、4名を今計上させていただいております。施設長、経験が15年以上の方がお一人、主任級、10年以上の方がお一人、あとクラス担任とかそういった方、お若い方になるかと思いますが、その方たちが2名ということで計上させていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 近藤善人委員。

○近藤善人委員 これは、市内の保育士さんが引き継ぐということなんですか、お願いいたします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚本課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） こちらのほうは、市内の保育士とは限りませんで、今度、民間に委託したとき、やられる業者さんのほうで御準備していただくという形になりますので、その事業者の雇われた方という形になります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の派遣保育士なんですけれども、4名ということなんですけど、それによって、今の内山保育園の保育士さんの数が減るというようなことがあるのかどうか、それから派遣された保育士さんの役割として、例えば担任をするとかそういったことも想

定されているのか、お聞かせください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚本課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） 減るかどうかわかりませんが、まず、減るかどうかわかりませんが、内山保育園の豊明市の職員が減ることはございません。あと、担任するかどうかわかりませんが、担任することにはございません。保育の中に実際に入っていただきますが、担任は市のほうで雇用しているものがさせていただきます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 沓掛保育園のときにもこういうようなことがあったと思いますけれども、要するに派遣されてくる保育士さんの人件費分を市が負担するということだろうと思うのですが、これは、負担割合はどうなっておるのでしょうか、業者と市のほうは。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚本課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） 負担、割合というものではなくて、一応一月で今のところ試算としましては110万円強ぐらいを見込んでいう形で、ひょっとすると民間事業者のほうをさらに補填して、その方たちの給与とかそういったもの、ボーナスとかそういったものをやられるという形になるかと思えます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 資料ナンバー3の⑦、⑧、地域包括支援センター委託料関係、資料ありがとうございます。資料ナンバー3、⑦、⑧です。概要は20ページ。

委託料の増額については、人員増を図る、計画的に増やしていくよということなんですけれども、この⑦のところの委託料で、北部、令和5年度は北部の体制整備ということですが、今現在の人員体制、今、何名で、それぞれやっているのか、どれだけ増やしていくのかという計画もお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 今、3包括合計で18名、それぞれ6名というような体制になってございます。それで、今後の人員体制につきましては、高齢者の増加、それから高齢

者数の増加だけではなく、そもそもケアプランのつくる数、それから相談件数自体もかなりの増加を見ておりますので、包括の職員、仕事を適切にこなすまでに非常に育成に時間がかかかりますので、計画的に人員を増加させるために、今後、5、6、7で順繰りに人員を増やしていくという予定で考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 では、令和5年度が北部をということで、これ、何名分の増ということと、1人当たりの勤務状況はどういうふうでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 北部に関しましては、純粋なプラスという形ではなく、現状、非常勤という方の分を正職に切り替えるという形で考えてございます。

それから、申し訳ありません。具体的な現状の勤務状況ということに関しましては、ちょっとそこまでの数字は持ち合わせてございません。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

青木委員。

○青木 亮委員 歳入、47ページなんですけれども、6節の国民健康保険未就学児という、これなんですけど、確認ですが、この負担割合というのが、国が2分の1の県と市が4分の1ずつということで、確か施行時期が、これ、令和4年4月1日からということになっているんですけれども、何で5年4月からになったかということと、あと未就学児、この対象者というのは、何人ぐらい見えるのか、2件、お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） この制度は、令和4年度から始まっておりますが、昨年度、この予算を立てるときには、予算のどこに入れるとかいう話がまだ国から指示が来ていなかったものですから、昨年度は、とりあえず今年でいうと5節の基盤安定負担金の中に含めて計上させていただいておりました。今年度から国民健康保険の未就学児均等割保険税負担金ということで、保険基盤安定負担金からは分けて計上させていただいたものになります。

それから、未就学児の対象者の話なんですけれども、予算積算のときで、人数として224名で

積算をしております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 長寿課の先ほどの質疑、概要だと20ページの上、地域包括支援センターの関係ですけど、先ほどの答弁の中で非常勤を正職にするというような話があって、これ人件費アップということだと理解したんですけど、それで、例えば非常勤さんを新たに雇い入れるとかそういうことはないということなんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 現状は正職への切り替えというところだけの分で考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 清水委員。

○清水義昭委員 それぞれ北部、中部、南部で非常勤さんどれぐらい抱えているのこの分かかりますか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 南部が6名中1名、北部が6名中1名となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 161ページの上から2つ目の児童発達支援センター事業の委託料で、これは概要の21ページの下のところにもありますが、令和4年度から開設されて、令和5年度は職員を増員ということなんですが、これは、増員はどういった方を増員するのか、それから何名増員になるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 市の予定としましては、正職員の1名とあと非常勤の職員1名ぐらいを予定させていただき、積算させていただきました。いずれも保育士などの有資格者をということで予定させていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 155ページ、じゃ、まずお願いします。

簡単なことですがけれども、真ん中より少し下の辺り、福祉医療助成費、前年より2,600万ぐらいですか、金額が大きいの伸び率としてはそんなに大したことないですが、先ほど入のほうで、確か母子と子どもが増えておるといようなことでしたけれども、今回のこの増要因はそういうことなのか、どうかということと、それから子どもの人数としては、多分毎年減ってきているんじゃないかなと思うんですけど、そういう中で伸びているということの分析はどのようにされているかをお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） 委員のおっしゃるとおり子ども、母子について、対象者は年々減ってきておりますが、実際の医療費、支給している金額を見ますと伸びておりまして、1人当たりになりますと1人当たり医療費、係る医療費が伸びているのかなというふうに考えております。

ごめんなさい。失礼しました。ちょっとあの質問、もう一つありましたかね、忘れちゃった。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ごとう委員、もう一度。

○ごとう 学委員 母子、子どもがということと、伸びている要因はということですので、今の答弁で結構です。

（じゃ、よろしいですね。すみません、失礼しましたの声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書の167だと思えますけれども、生活保護費ですね。

まず、まごころサポート便が見当たらないんですけれども、それは、来年度はやらないということなのかということと、生活保護にも当てはまらないそういった生活困窮者、物価高騰などしているんですけれども、そういった方への支援策というのはどこか上がっているんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

近藤課長。

○地域福祉課長（近藤有紀子君） まず、まごころサポート便の件でございますが、今現在、実施しております。その中で、アンケートを実施しております。ですので、今回の当

初予算につきましては、骨格予算でございますので、そうしたアンケートの結果を鑑みながら、新年度のほうで必要な状況に応じて、また計上していく予定をしております。

それと、もう一点の生活困窮者支援策でございますが、まず申し上げたいのが、地域福祉課所管分だけではなく、全ての予算においてそうしたことが加味されておりますので、地域福祉課所管分についてだけ御説明させていただきますと、そもそも以前よりやっておりますよりそいによる自立促進支援事業の委託料、それから生活困窮者の学習等支援事業、そして困窮者の相談に関しましてのポルトガル語通訳業務、生活保護就労支援業務、それから住居確保給付金というものは従前どおり実施していきますし、その中で個別の状況に応じた支援を丁寧に継続してやっていく予定をしております。

また、重層的支援の一環でもございますが、広くは就労支援をしていくことが、いろいろな多様な方に就労支援していくことが必要と考えておりますので、包括的就労推進事業も引き続き継続していくよう計上しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書167ページ、3款3項2目 生活扶助費が、前年度と当初予算で同額ということですが、今の話なんかとも関わると思うんですけど、物価が高騰しているということは総体的に同じ収入や所得でも生活そのものは水準は下がるということだと思うんですが、国にこの保護基準の変更をとかというのは、来年度に向けてはされていないということなんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

近藤課長。

○地域福祉課長（近藤有紀子君） 当初予算での生活保護扶助費の計上につきましては、直近の生活保護世帯が245世帯であることを見込みまして、同程度ということで見込んでおります。

国のほうの単価の見直しにつきましては、まだ正式な通知が来ておりませんが大幅な変更はないと聞いておりますので、そのように見込んだものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

中村委員。

○中村めぐみ委員 145ページの真ん中の国民健康保険特別会計の出産育児一時金等の繰出金が減額されているんですけども、これは多分予算を組む段階で今回引上げ分が加味

されていないのか、それとも加味してでもその出生が減なのか、そこら辺の理由について  
お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○保険医療課長（伊藤克代君） 出産育児一時金等繰出金の減額ですけれども、予算の積算では、今回の引上げの金額で積算してあります。ただ、実際の件数が毎年60件ほど予算計上しているんですけれども、実際の実績が40件に満たないぐらいですので、今回、件数を減らしましたので、結果的に減額になったということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 151ページお願いします。

真ん中辺りに障害者福祉計画等策定委託料ということで275万上がっていますけれども、これは現在あるものの改定だと思うんですけど、どのようなメンバーで行う、メンバーが何人いて、どのような方が入っておられるのか、ちょっと御説明をお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

近藤課長。

○地域福祉課長（近藤有紀子君） 今、御質問いただきました委託料につきましては、委員のおっしゃられるとおり、現行の計画について新たな次計画を策定するものでございます。

御質問いただきました内容の委員報酬に関するものにつきましては、同ページの項目の1番目のところに該当するものかと思いますが、委員は14名いらっしゃいます。その中には、当事者代表の方ですとか、あと3障害ございますので、それぞれの代表の方、それから医療関係の方、福祉関係の方等の代表により構成されております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書145ページ、3款1項1目 国民健康保険税の保険税軽減分や保険者支援分よりもその他繰入金の増額の割合が低い、ほぼ同額ということなんですけど、これはどういう理由かを教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊藤課長。



○保険医療課長（伊藤克代君） 基盤安定繰出金軽減分、支援分とかにつきましては、低所得者軽減の対象の人数見込み、来年度の軽減に係る見込みの人数ですとかを基に、あと均等割額とか平等割額を基に積算して、増額となったということでございます。

その他一般会計繰出金は、言ってみれば足りない分だったり、法定で定められていない部分の繰出金になるので、前々から言っているとおり、赤字繰入れについては減らしていかなきゃいけない方向で、ただ今回については、減らすことがなかなか難しいような状況でしたので、ほぼ同額で、最低同額でということで予算を組ませていただきました。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 予算書159ページの一番下の表の上から7個目ぐらいかな、ひとり親家庭等児童記念品とあるんですけど、これは何なんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） ひとり親家庭の御家庭で、小学校入学、あと小学校卒業及び中学校入学、中学校卒業の方に図書カードをお渡ししている事業となります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 これって、今までもあった事業ですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） これまでもございました。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 清水委員。

○清水義昭委員 すみません、存じ上げなかったもので。

積算根拠、お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 1人2,000円掛ける138人で積算させていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤善人委員。

○近藤善人委員 155ページの一番上、手話通訳業務、これ、先ほど窓口、週3回に増やしたということなんですけれども、この週3回の勤務体系といたないとき、この方がいないときの対応はどうされているのかをお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

近藤課長。

○地域福祉課長（近藤有紀子君） まず週3回の勤務体系でございますが、週3回午後の1時から3時までの予定です。こちらの事業につきまして、利用されている方がある程度10名程度というふうに実人数は限られております。ですので、その方たちには周知はしつつ、どうしてもというときには、手話、筆記等で対応しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 51ページをお願いします。

真ん中の辺りの保育対策総合支援事業補助金526万7,000円、先ほどの御説明で民間保育所への補助で完了したから減額になったというような御説明だったと思いますけれども、そもそもこの補助金の趣旨とそれからあと残った526万7,000円は、補助が完了しても出るの、これは何なのかということをお教えください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚本課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） こちらのほうの、まず趣旨でございますが、保育対策総合支援事業ということで、保育園のほうの民間保育園が主ですが、感染対策だとか改修工事とかそういったものの補助金のほうを頂く形になっております。

保育所等改修分ということで、昨年度は1園、保育所を一部改修させていただきまして、そちらの経費として533万円ほど予算計上させていただいておりました。そちらのほうの経費がなくなりまして、そちらのものが削減されております。ほかにこちらのほう、感染症対策等も増えておりますので、そちらのほうで増減がされております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤課長。

○地域福祉課長（近藤有紀子君） 先ほど手話通訳業務につきまして御質問いただいたも

のの回答で、訂正をお願いいたします。1時から4時の3時間の誤りでございました。失礼いたしました。

近藤善人委員。

○近藤善人委員 それで、報酬は時給で支払われているのでしょうか、お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

近藤課長。

○地域福祉課長（近藤有紀子君） 時給でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 近藤善人委員。

○近藤善人委員 ちなみに幾らですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

近藤課長。

○地域福祉課長（近藤有紀子君） ごめんなさい、申し訳ありません。ページ数もう一度お願いいたします。

（155ページ、一番上の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 近藤課長。

○地域福祉課長（近藤有紀子君） 時給1,295円でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

委員の方は、まだ質問ありますか。

（ありますの声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） あと幾つ、1、1でいい。

じゃ、1、1、そこまで。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 すみません、また元に戻って恐縮です。

資料ナンバー3の⑦、⑧、地域包括支援センター委託関係で先ほど御説明いただきました。その資料の真ん中ほどの米印のところで、計画的に人員増を図るということもお聞きしました。

北部に関しては、来年度、前年度に比べて400万円増加しております。なので、確認なんですけど、人数は変わらないよということ、あともう一つ、勤務体制の実態というので、ちょっと分かる範囲でお答えいただきたいんですけども、委託している社会福祉法人あるかと思いますが、この地域包括支援センターのお仕事専門なのか、もともとの社会福祉法人でお仕事されているのと、これと兼務という理解でよろしいのでしょうか、すみません。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 基本的には、地域包括支援センターの専任という形で働いていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 勤務体制ですよ。

○長寿課長（伊神竜一君） 勤務体制に関しましては、後でお答えいたします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） じゃ、ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 予算書の165ページ、保育の一番上で民間保育所等運営費補助金の中に、使用済みおむつの回収が142万円ほど含まれているというような御説明あったんですけども、この事業スキーム、補助金を出すだけなのか、市が回収するのかというようなことと、対象の園の数をお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚本課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） こちらのほうは、処分費に対して支給するということですので、実際の清掃車が回って回収するというのではなくて、事業者のほうで処分していただいて、その費用に対して補助するというものでございます。

対象園につきましては、民間保育所全部になりますので、11園全部になります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 清水委員。

○清水義昭委員 同じところですけど、だから、対象園11園ということは、11園全てがおむつ回収をしているので補助するということいいですかね。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚本課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） まだ、今時点、3月時点やっていらっしやらない園もございますが、4月からは全てやっていただけるという予定でおります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 先ほどの答弁、伊神課長、できますでしょうか。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 大変申し訳ありませんでした。

基本的には、法人の働くための規定に準じるということでございますが、相談時間として決まっているのが週5回で、朝の9時から午後の5時までという形になっております。

以上です。

○**予算特別委員長（近藤千鶴議員）** 以上で、3款 民生費の質疑を終わります。

ここで理事者側の入れ替えのため10分間の休憩といたします。

午後2時15分休憩

午後2時25分再開

○**予算特別委員長（近藤千鶴議員）** 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて4款 衛生費について、順次説明を願います。

川原課長。

○**健康推進課長（川原静恵君）** それでは、健康推進課所管分について御説明いたします。

最初に、歳出の主なものについて御説明させていただきますので、予算書の170、171ページを御覧ください。

4款1項1目2 保健衛生事業は、前年度より393万6,000円の増額でございます。

主な要因につきましては、1枚おめくりいただきまして、173ページの説明欄の上段、予防接種健康被害給付費を計上したことによるものでございます。

174、175ページを御覧ください。

3目1 健康推進活動事業は800万2,000円の増額でございます。主な要因は、説明欄、上から10段目、成人病診断等委託料は、がん検診等の受診人数を見込んで462万6,000円の増額でございます。

178、179ページを御覧ください。

5目1 保健センター運営事業は160万5,000円の増額でございます。主な要因は、説明欄上から4段目、光熱水費、ガス、電気料金を前年度より増額しております。

続いて、歳入の説明を、主なものを御説明させていただきます。

48、49ページを御覧ください。

14款1項2目1 衛生費国庫負担金、説明欄でございます。予防接種健康被害給付費負担金の378万7,000円は、歳出で御説明させていただきました給付費としての国の負担分でございます。

続いて、13ページを御覧ください。

第3表 債務負担行為、健康診査委託事業は、35歳から39歳以下の市民などを対象として、保健センターなどの集団会場における健診業務委託につきまして、令和6年度より令和8年度までの業務選定を行うため、債務負担行為をお願いするものでございます。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） それでは、子育て支援課所管分について御説明いたします。

歳出より主なものを御説明しますので、予算書の172、173ページを御覧ください。

4款1項2目1 母子保健活動事業は、前年度より6,750万3,000円の増額です。主な要因について御説明いたします。説明欄を御覧ください。

中段の下から3段目、出産・子育て応援交付金は、令和4年4月以降に出産した方を対象に令和5年2月1日から開始した事業でございます。伴走型相談支援と経済的支援を一体的に行う事業として、妊娠中に5万円、出産後に5万円を交付するものです。

続きまして、2 子育て予防接種事業は、前年度より8,186万1,000円の減額です。

説明欄を御覧ください。

下段の下から2つ目、予防接種委託料は、主に子宮頸がんワクチン接種の接種見込みから減額しております。

続きまして、歳入について主なものを御説明いたします。

64、65ページを御覧ください。

15款2項3目2 保健衛生費補助金、説明欄の下から2段目の一番下、出産・子育て応援交付金事業費補助金は、伴走型相談支援に係る費用について、国と県合わせて4分の3、出産、子育て応援ギフトに係る費用について、国と県合わせて6分の5補助されるものです。

78、79ページを御覧ください。

18款1項3目1 福祉基金繰入金3億100万円のうち7,900万円は、歳出で御説明しました子宮頸がんワクチン接種委託料に充てる基金となっております。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 今枝室長。

○新型コロナワクチン接種推進室長（今枝 翼君） 続きまして、新型コロナワクチン接種推進室所管分について御説明します。

最初に、歳出予算について説明しますので、予算書の174、175ページをお願いします。

4款1項3目 健康推進費、右ページの一番下、3 新型感染症予防接種事業6,417万2,000円のうち、主なものを御説明します。

1枚おめくりいただき、177ページの説明欄をお願いします。

1行目の相談窓口委託料1,116万円は、新型コロナワクチン相談窓口の運営、ワクチンの配送、接種証明書等の発行業務等に対する委託費用です。1行下の予防接種委託料4,369

万6,000円は、個別接種を行う各医療機関への接種委託費用で約1万7,400回分を見込んでいます。

続いて、歳入の御説明をしますので78ページ、79ページをお願いします。

18款 繰入金、1項3目1節 福祉基金繰入金3億100万円のうち6,400万円は、歳出で御説明しました新型コロナウイルス予防接種事業に充てる基金です。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 続きまして、環境課所管分の主なものについて御説明いたします。

当初予算書176、177をお開きください。

4款1項4目 環境衛生費でございます。1,920万4,000円を計上し、対前年度比428万7,000円の減額となります。主な減額の要因といたしましては、令和4年度には、墓地に関する意識調査業務委託料を臨時で予算計上していたことによるものです。

次に、182、183ページをお開きください。

4款2項1目 清掃総務費でございます。9億2,538万4,000円を計上し、対前年度比で9,206万2,000円の増額となります。右ページを御覧ください。主な増額の要因といたしましては、説明欄中ほどの東部知多衛生組合負担金は、前年度比8,095万2,000円の増額です。これは、主に可燃ごみ焼却施設で使用する燃料、コークス価格の高騰及びマテリアルリサイクル施設などの元金償還が始まることによるものでございます。

続きまして、最下段、4款2項2目 塵芥処理費でございます。1億6,442万7,000円を計上し、対前年度比で1,175万4,000円の増額となります。

1枚おめくりいただき、184、185ページを御覧ください。

主な増額の要因といたしましては、右ページ説明欄の中段、一般廃棄物処理基本計画策定業務委託249万7,000円を新規で予算計上していることによるものです。

続きまして、歳入の主なものを御説明いたします。

90、91ページをお開きください。

雑入でございます。右ページ説明欄の中段、最上段上から11行目、資源売却金97万2,000円の増額は、アルミ、スチールなど鉄類及び紙類の売却単価が上昇していることを踏まえ、見込んだことによるものでございます。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明は終わりました。

4款 衛生費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 176、177ページをお願いします。

環境衛生事業の一番下、合併処理浄化槽の設置費補助金です。単独から合併に替える際の補助金というふうでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 新規で合併処理浄化槽をつけるものは補助の対象でなく、委員が言われるとおり単独から合併処理、くみ取りから合併処理浄化槽に替わる際の補助金でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 じゃ、444万1,000円、これの積算をお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 6基分を見込んでおります。5人槽が2基、7人槽が2基、10人槽が2基でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤善人委員。

○近藤善人委員 173ページの一番上、予防接種健康被害給付費378万8,000円が、49ページでは378万7,000円となって、1,000円違うんですけど、何でしょうか、1,000円。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 端数を切り下げたので金額が変わっているだけです。積算根拠としては同じですが。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 予防接種健康被害給付費の詳細とか見込みを教えてくださいんですけどね。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

川原課長。



○健康推進課長（川原静恵君） コロナの後遺症による健康被害の申請5件分を上げております。根拠といたしましては、申請いただきました医療費の自己負担分や月額で支払われる医療手当などを見込んで、この金額を計算しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の179ページの上の欄、住宅用地球温暖化対策設備等設置補助金100万円、今までと何か中身の変更はあるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 令和4年度と変更はございません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（発言する者あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 鵜飼委員。順番に行きます。

○鵜飼貞雄委員 184、185をお願いします。

一番上の枠の下から2つ目、塵芥車の購入費570万ですけど、金額からするとパッカー車ではないですかね。どういった種別になりますか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） トラックの2トン車を予定しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

関連、鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 これはちなみにどういった使用目的、どこに配備されるか分かりますか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 清掃事務所で今トラック2トン車のほうを使っているんですけども、購入後25年がたちまして古くなりましたので、購入を、買い換える。主に使っているものは、粗大ごみの回収のほうで主に使っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

一色委員。

○一色美智子委員 173ページ、下から2行目の予防接種委託料、子宮頸がんワクチン……。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） マイクをお願いします。

○一色美智子委員 ごめんね。

（発言する者あり）

○一色美智子委員 173ページ、下から2段目の予防接種委託料、子宮頸がんワクチン接種について、今後、若い子には2回接種ということを知っているんですけども、その辺のことって何か聞いていますでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） ワクチンが、今まで2価と4価しか定期接種で認められていなかったものが、5年度から9価も認められるようになり、それで、今まで3回接種のものを2回でいいのではないかという議論はありますけれども、今のところ、国のほうからは2回という話は、決定というようなことはなく、3回で引き続きというふうな通知が来ております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

一色委員。

○一色美智子委員 キャッチアップについて聞きたいと思います。

高2から26歳の方は、早く打たないといけないのではないかなと思うんです。これの周知とかはどういうふうに考えてみえますか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 今のところは、広報とホームページで考えておりました、今年度、6月に個人通知を全員の方にさせていただいているという状況を踏まえて、今のところ個人通知は予定していないんですけども、5年度の接種率などを見ながら、必要であればまた検討していきたいと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

関連、宮本委員。

○宮本英彦委員 その173ページの予防接種、子育ての予防接種の委託料、昨年に比べますと、昨年が3億388万9,000円、今年は2億2,000でかなり減っているんですね。同じように、

上のほうにある乳児及び妊婦健診委託料、これも昨様が7,439万5,000円で今回7,167万2,000円で、これも減っているんですけど、減額した理由をお答え願います。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 予防接種委託料につきましては、主に子宮頸がんのワクチンの接種率を、令和4年度は高く見込んでいたんですけども、5年度につきましては2割程度の接種率を取りあえず見込ませていただいて積算をさせていただいているところでございます。

それから、乳児及び妊婦健診の委託料につきましては、実績のこれまでの見込みから、5年度につきましては減額をさせていただいている状況でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じ173ページの一番下から2つ目の予防接種委託料なんですけど、減額の理由はさっき述べていただいたとおりでと思うんですけど、補正で、たしか記憶があるんですけど、おたふく風邪か何かのワクチンがたしかあったと思うんですけど、これはここに含まれて増額しているということよろしいでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） おたふくにつきましては、こちらの予防接種委託料と、その下の費用助成金のほうに組み込ませていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 分かりました。いいんですか。

清水委員。

○清水義昭委員 分かったけど。下から2つ目の予防接種委託料の中にどれぐらいの額で入っていて、その下の助成金のところにどれぐらいの額で入っていて、何名ぐらいを対象にしているのかということをお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 少しお時間いただきたいので、後から答えさせていただきます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 173ページの一番上のところで、先ほどコロナ後遺症で5件分あったということなんですけども、それで、医療費等々というようなことだったかなと思いますけれども。後遺症があった場合は、保険適用になって自己負担分を給付しているということなのか、保険適用にならないのかということと、それから、初めてこういうことを聞きましたけど、後遺症があるということ、こういうことは、後遺症があるということは情報として発信してみえるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） まず、給付の内容なんですけれども、基本的に、症状がある方については保険適用で自己負担を払っていただいて、窓口でしていただいておりますが、このたびの給付費の申請がございまして、認定が認められるということでしたら、その自己負担分につきましてもお支払い、給付をされるというものになります。さらに、先ほど、もう少し加えさせていただきますと、外来の診察だとか、通院だけではなく入院につきましても、日数によって月額というような手当がございます。

後遺症につきましては、副反応ということでは予防接種のほうの通知のときには併せて御案内はしております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 御案内をしておりますということですけど、豊明で現にこういうことが起きているということは、何らかの形で予防接種を受ける方に伝わるようにはしているということなんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 現状いろいろな副反応の中で、このたびの5件の方の給付の申請をいただいております。まず、市町村のほうで、この方がコロナの後遺症に当たるかどうかというところを、医学的な見地から県のほうに上げ、国のほうに今至っている状況になっております。まだ今は確定ということではございませんので、また、その後につきましては、正しい情報ということでお知らせのことは、また、検討していきたいと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 先ほど御質問いただいたことについて回答させていただきます。

おたふく風邪ワクチンなんですけれども、予防接種委託料に含まれているものとしまして800人分を見込み、予算としては160万円、助成金のほうで48人分を見込み、予算としては9万6,000円、含まれております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 182、183をお願いします。

東部知多衛生組合の負担金です。4年度の当初に比べると約8,000万ほど増額計上されているんですけど、理由をお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 増額の主な要因でございます。

まず、浄化センター、温水プールの光熱費の増、あと、可燃ごみ処理施設長期包括運営業務委託料の増額と、併せて新規で不燃ゴミ供給コンベア補修工事費の増額と、併せまして公債費のほうでマテリアルリサイクル推進施設事業費などの元金償還が始まることによりまして、増額のほうとなっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 173ページの先ほどのコロナの後遺症の件なんですけれども、378万8,000円という細かな数字で上がってきているんですけども、それは、今年度の実績といたしておかしいですけども、それから出てきた数字なんでしょうか。根拠がありますか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） こちらは、5人分もし決定ということでしたら、1年分をお支払いする根拠を挙げております。それも、先ほど詳しく、ごめんなさい、説明させていただきましたが、診療日数によつての自己負担も違いますので、申請の段階での計算を月で掛けた形で5人の方の積算をしたものがこちらになります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 173ページの母子保健活動事業の中の、ごめんなさい、下のほうの不妊検査及び不妊治療費のほう、助成のことなんですけど、これって来年度から保険適用されるかと思うんですけど、その助成、何人分ぐらい見込まれてのことかなって。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 不妊検査及び不妊治療費等助成金なんですけれども、今年度、令和4年4月から保険適用になったことを踏まえまして、令和3年度から継続して御申請いただいている方、2年間という決まりがございましたので、その方について10人分を見込んでおります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 これって回数も限りがありましたか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 回数というよりは金額に上限がございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 予算書177ページの中段辺りの犬猫等死体処理委託料……。

（発言する者あり）

○いとうひろし委員 いいよね。173万7,000円。件数が分かれば教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 315頭のほうを予定しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 同じ177ページの下から6つ目か7つ目の電算関係委託料、補正で全額減した犬猫のマイクロチップのものだと思うんですけども、これ、やめたけれども、また、計上するということなんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 令和4年度のほうは予算のほうを減額させていただきました。令和5年度のほうにつきましては、国のほうと日本獣医師会のほうが話し合いを今進めていますので、その関係で市町村が望む犬猫の登録のほうも一緒にやっただけというふうに変われれば、うちのほうも参加したいということで予算計上させていただいております。以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書181ページ、4款1項7目 公害対策事業の水質等分析委託料からの公害の測定関連の費用が僅かにそれぞれ上がっているんですけど、これは、やっている事業の拡大ということではなくて、昨今の人件費も含めた物価の高騰から、受託する会社の出してくる費用が上がっているためって、そういうことでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 委員のおっしゃるとおりです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じページ、今の公害対策事業の中の一番下、大気環境常時測定局解体工事、阿野区にあるのを解体するんですが、これ、どうしてですか。どういう経緯ですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 解体工事のほうの予算のほうを来年度上げさせていただいたんですが、現実には、令和4年度、今年度当初から測定のほうは既にやめております。これは、現在の中日本高速道路株式会社と協定のほうが平成16年のほうに結びまして、阿野地区のあそこのほうで大気の方の観測をしてくれということがあったんですけど、それは10年間をめぐりにやっていたんですけども、そのほうが期限も過ぎまして、汚染の状況とかもありませんので、このたび測定はやめまして、令和5年度のほうで、そこの建物のほうを解体する形でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。マイクをお願いします。

○ごとう 学委員 ここでの測定の数に応じて、光化学スモッグとか、その注意報か何か出したりしておったようなじゃなかったんですかね。なくなっちゃって大丈夫ですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） このところはなくなっても大丈夫です。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 これは大丈夫だということは、どこでそういう測定がされておるんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 愛知県のほうがしてしまして、豊明中学校のほうに機器がございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 178、179の一番上の枠の住宅用地球温暖化対策設備等設置費補助金、これはV2Hですかね。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 委員のおっしゃるとおりV2Hです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 100万円です。これって、1件当たり幾らでしたっけ。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 豊明市からの補助は、1件当たり10万円です。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。



○ふじえ真理子委員 概要の22ページの一般廃棄物処理基本計画策定事業です。下のほうですね。中身を読んでいきますと、ごみの排出抑制、ごみ減量のことにも入ってくるかと思うんですが、現在やっているごみ減量20%目標について、もうすぐ終わるわけですから、終わった後の考察だとか分析だとか、そういったものがどういうふうに、この計画策定時に生かされる予定なのか。

あと、もう一点、この計画をつくる委託は、どういったところに委託をする予定でしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） こちらの計画、現在、10年計画は令和5年度のほうで最終年が来ますので、その10年間のほうの計画の中にございました目標とか施策等のほうを検証していくんですけど、それを踏まえて、令和6年度から10年間の新しい計画を策定いたします。その際には、計画の年度の途中で、ごみ減量20%の削減の計画のほうを別でつくっておりますので、そこのほうの結果の分析もいたしまして、新しい一般廃棄物の処理の計画のほうは策定していきたいと考えております。

併せてまして、業者のほうはコンサルのほうなんですけれども、近隣市町村の県内のほうで計画をつくっている業者とかのほうを調べまして、そちらのほうの中から入札等で決めていきたいと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 185ページの今の計画のもうちょっと上のところですけども、塵芥処理委託料が1,400万ですか、増えていますけれども、増えた理由は何でしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 昨今の燃料費の高騰、あと人件費の高騰により上昇分を見込みました。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 約1割上がっていることになりましてけれども、車をそんなに長距離走るわけじゃないし、この辺の1割ぐらいコストが上がっているということは、ちゃんと査定をされておるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 燃料費のほうの高騰です。距離的にはそんなには市内のほうでないですけど、行き来する車の走行の距離のほうはかなりありますので、その辺のほうを見込んでこの金額のほうを予算計上させていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 延長距離とか、車のキロ当たりの走行距離とか、そういったものからきちんと割り出して出した数字でしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 市のほうでそこまでの距離のほうを、これだけ昨年から延びたのでこのパーセンテージを上げるというふうな形までの確認のほうはしておりませんが、業者のほうから見積りを取るに当たりまして、そういった積算に基づいてやっていますよということの報告を受けております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 ごみの減量20%を目指すということで、そこまではやれていないけれども、ごみが減ってくると車の走る距離もそれだけ、往復する回数が減るとかというようなこともあるかと思うんですけど、そういうことも考慮されておられるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） ごみの量が現在、着実に減ってきているんですけど、その分が走行距離のほうに影響するというふうな、今の段階では考えておりません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今の関連ですけれども、塵芥収集、収集の箇所、集める場所がある一定程度増えると、委託料にも反映されていていらっしゃるんですか、箇所数。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 今現在、可燃の収集の箇所数は2,409か所あるんですけども、ここが大幅に変わるようであれば価格のほうには反映してくる形となります。ですが、たまに町内のほうで1か所増やすとか、それぐらいの話であれば許容の範囲内でありまして、影響はないかなと思います。ですので、大幅に収集箇所が増えた場合には必ず影響してきます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今の大幅に増えればという、その大幅というのは、どのぐらいの単位を想定して。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 箇所数では今申し上げられないんですけど、例えば、市のほうで直営でやっている可燃の場所があります。そのほうを業者のほうに委託するという話が来た場合は、大幅に当たるかなと思います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 資料の2の③を見ていただきたいと思いますが、上の表でごみの収集量の推移ということで、着実にではないけれども、一応減ってきております。

お聞きしたいのは、その下のプラスチックのごみの関係なんですけど、ちょっとよく分からないんですけど、この表は一番左がプラスチックとして回収した総量、そのうち容器リサイクル協会へ引き渡したのが真ん中の行で、その右側のプラスチック製品引渡額というのが容器リサイクル以外のプラスチックごみというふうに、そういうふうに理解していいんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） そのとおりです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 ということは、廃プラスチックの収集を始めたということで、他市に先駆けて始めたということですが、実績としては、容器リサイクル協会へ渡す量の5%ぐらいですかね。そのくらいでしかないということでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 4.8%です。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 今の件で、これは事業所にお願いをして、容器包装リサイクルのごみとそうでないものと仕分するようなこともたしかやってみえたと思いますが、それは、すみません、予算上ではどこに入っていますか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 予算書183ページの中段、資源処分委託料の中に入っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 それは、積算としては幾らぐらい。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 6,725万4,000円の内訳ということでございましょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 容器リサイクルのごみとそうでない一般の廃プラとを分けることの委託の費用が、この中に幾ら入っているかということをお聞きしているだけです。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） 資源処分委託のほうで624万6,900円が増額としております。ごめんなさい、もう一度お願いします。すみません。今の増額分でございまして、そのうち1,000万円分がプラスチックのほうの委託会社のほうに当たる費用でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 確認で、これで終わりますけど、そうすると、この2,935キログラム、トンでいうと3トンですかね。3トン分に1,000万円かかっている。コスト的にはそういうことだということですかね。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

塚田課長。

○環境課長（塚田 力君） そうです。量的にはそこですけど、そのために事業所としてのほうの設備の投資とかもありますし、人のほうも配置を増やしています。レーンのほうを増やすということも合わせまして、金額的にこのような形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 今枝室長。

○新型コロナワクチン接種推進室長（今枝 翼君） ありがとうございます。新型感染症予防接種事業について、1点補足をさせていただきたいと思います。

私の冒頭の説明の中で、歳出予算は1万7,400回分の個別接種を見込んでおると、歳入予算については福祉基金を見込んでおるという説明をさせていただいたんですけれども、予算計上の前提といたしまして、秋ぐらいに高齢者等のいわゆるハイリスク者に1回接種することを想定して予算計上させていただいたということがあります。

ただ、今、皆様も報道等で御承知のとおり、それとは違う動きもあるやに聞いております。現時点では正式なものとして示されるのを待っておる状況ではあるんですけれども、いずれにしても、まだ分かっていないということで計上させていただいております。

あとは、国庫補助についても、これまでは国庫補助があったということもあったんですけれども、それも含めまして近いうちに、また、お諮りしたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて4款 衛生費の質疑を終わります。

ここで理事者側の説明者の入替えのため、暫時休憩といたします。

午後3時2分休憩

午後3時6分再開

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、5款 労働費について説明願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） それでは、5款 労働費の歳出から御説明いたします。

予算書186、187ページをお願いします。

5款1項1目 労働諸費は、前年度比140万円の増額で、主な理由は、東京圏から市内の中小企業に就業した場合、移住に要する費用を交付する移住支援金について、世帯で移住した場合には、18歳未満1人につき100万円が加算されることによるものです。

次に、歳入の御説明をさせていただきます。

64、65ページをお願いします。

一番下、15款2項4目 労働費県補助金、説明欄、首都圏人材確保支援事業費補助金は、前年度比105万円の増額です。主な理由は、歳出で御説明したように、移住支援金が拡充されることによるものです。

以上で労働費の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明が終わりました。

5款 労働費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

毛受委員。

○毛受明宏委員 187ページ、中段の労働費の労働事業ということで、移住支援金がアップしておりますが、これは、アップの理由というか、実績が上がったのかなとは思いますが、その内訳を教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 移住支援金は、1世帯100万円、プラス、18歳未満の子どもが1人いる場合には、1人につき、今までは30万円だったんですが、それが100万円の加算になります。ですので、このたびは1世帯、18歳未満の子どもが2人いると仮定して、1世帯分の金額を計上したものです。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 この間の減額補正で今年度は申請がなかったというふうな御答弁があったと思いますが、今回、こうした増額ということで計上されているんですけども、何か具体的に、この支援金を用意するだけではなくて、何か具体的なそういった動きはどういった取組を考えていらっしゃるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） こういった予算措置というのは、これは全国的なものでして、なかなか移住支援が進まないということに鑑みて、こういった状況になっておるところでございます。

一方で、移住支援金を受給するためには、U I J支援センターという移住を支援するセンターに登録してある事業者に就職することが前提となっておりますので、なので、そういったところに市内企業さんが登録していただけるようなPRは継続してさせていただこうというふうに考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 じゃ、今のお話で、ここ昨今の数年間で、市内の登録企業が伸びてというような見込みもあって、こういう来年度に向けた予算措置なんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） なかなかその伸びというのはないんですけども、なので、全国的に移住支援金を引上げという動きにはなっているんですが、それに加えて、その事業者さんの登録というところの増加を図っていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 不謹慎な発言かも分かりませんが、ずっと実績ないんですよ。国の政策なんですよ、これ。そもそも国の政策の中身が私から見ると問題があるような気がするんです。これって、どうしてもやっぱり計上せないかんですかね、これ。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 県内でもかなり数は、愛知県への移住というのは少ないというふうに聞いております。ですが、可能性としてゼロではない以上は、せっかく豊明市に移住したいという方がいらっしゃったときに、移住支援金が交付できないというのは申し訳ないというところもございまして、ですので、1世帯分ですけれども計上させていただいておるところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 今のところですけども、豊明のほうで登録してある会社さんは、UFJだったっけ、何でしたっけ、は何社ぐらいあるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） これ、日々変わってくるんですけども、今、現時点で20社程度が登録してあるというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 以上で質疑を終結します。

これにて5款 労働費の質疑を終わります。

続いて、6款 農林水産業費について順次、説明願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） それでは、農業政策課所管分について、歳出から御説明します。

予算書186、187ページをお開きください。

下段、6款1項1目 農業委員会費は、前年度比198万2,000円の増額です。主な増額理由は、国のデジタルトランスフォーメーションの推進に合わせ、本市のデータ整備を進めるための電算関係委託料を計上したことによるものです。

予算書188、189ページをお開きください。

最下段、6款1項2目 農業総務費の3 農業総務事務事業は、前年度比107万5,000円の増額です。主な増額理由は、農村環境改善センターの電気料金高騰により、光熱水費を増額したためです。

続きまして、歳入を御説明しますので、予算書38、39ページをお開きください。

下から2段目、13款1項4目 農林水産業使用料の右側説明欄、改善センター使用料は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設の利用制限を行っていましたが、令和4年7月から利用の緩和を実施したため、前年度に比べて増額しております。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 続きまして、土木課が所管するものについて歳出から御説明いたしますので、予算書192、193ページをお開きください。



6款1項5目 農地費の主なものは、右側説明欄、土地改良事業の中ほどのちょっと下、農業土木工事費は土地改良施設の改修等の実施によりまして、1,543万2,000円を計上しております。

下から3行目、県営土地改良施設耐震対策事業等負担金は、県事業による勅使池等のため池耐震対策を行うための負担金で、1,770万円を計上しております。

次ページ、194、195ページをお開きください。

2段目、県営たん水防除事業負担金は、大久伝排水機場の更新事業に伴う愛知県への負担金で、7,800万円を計上しております。

次に、6款 農林水産業費の歳入を御説明いたします。

予算書、66、67ページをお開きください。

15款2項5目 農林水産業費県補助金の主なものは、右側説明欄の農業費補助金、3行目の土地改良事業費補助金は、単独土地改良による土地改良施設修繕工事に対する補助及び排水機場の点検管理に係る維持管理費に対する補助となります。

5行目、農業農村多面的機能支払事業補助金は、農業農村の有する多面的機能維持発揮を図るための地域の協働活動を実施している勅使水系環境保全の会への補助金に対して、国、県から4分の3が補助されるものです。

続きまして、94、95ページをお開きください。

21款1項2目 農林水産債の土地改良事業債は、右側説明欄1段目、土地改良施設耐震対策事業1,580万円は、勅使池、上高根の耐震対策事業に伴う負担金に対する市債でございます。充当率は90%でございます。

2段目、湛水防除事業7,020万円は、県事業による大久伝排水機場更新に伴う負担金に対する市債でございます。充当率は90%です。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明は終わりました。

6款 農林水産業費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 53ページの歳入なんですけれども、この一番上に農業費の補助金で地域計画策定推進緊急対策事業費補助金ってあるんですけれども、これは、歳出でどこに当たっているんでしょう。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらのほうは、190ページ、191ページのほうの農業振興事業の上から1段目の転作事務と、2段目、会計年度任用職員期末手当、その下、4段目、消耗品費、その2段下、印刷製本費、その2段下、通信運搬費、こちらのほうの一部に充当されております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 この地域計画というのは、どういった計画を作成されるんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 地域計画とは、以前、人・農地プランというのがございました。こちらのほうは、地域農業の将来の在り方を検討するプランでございます。こちらが国の法改正により法定化されて、地域計画というふうに名称が変更となりました。令和6年度末までに計画を策定しなければならなくなりまして、地域の農地を誰が利用するか、農地を含めて地域農業をどのように維持発展していくか、そういったようなプランを策定するものでございます。

来年度の計画につきましては、まずは地主へのアンケートが実施しなければならないものですから、そういった形で、先ほど申し上げた歳出のほうに充当させていただいている状況です。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書の191ページ、6款1項3目 農業振興事業のちょうど真ん中辺り、米の生産調整推進対策奨励金が若干増額しているんですけど、これは何ででしたっけ。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらのほうは、今、現在、主食用米が米価のほう 가치가下がっている関係で、主食用米から転換をしたいというふうな方がお見えになるということと、勅使池への耐震工事をした関係で、冬の水をどうしても必要とする時期に、今回、利用できなかったということで、お米から麦とか、そういった米以外の品目に変更するというのを伺っておりますので、こちらのほうが昨年度に比べて増額という形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

毛受委員。

○毛受明宏委員 予算書の193ページ、下から3つ目になるというのかな、県営土地改良施設耐震対策事業等負担金、これはちょっと減額にはなっているんですけど、内訳を教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） こちらの内訳といたしましては、勅使池の耐震事業で330万円、上高根2池、道池、長間地池に対しまして1,280万円、皿池に対しまして160万円を計上しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

毛受委員。

○毛受明宏委員 続きまして、195ページ、上から2つ目の県営たん水防除事業の負担金7,800万円ですけど、これは大きく増額になっておりますけど、この内訳をお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） こちらは、大久伝排水機場の更新工事の負担金でございます。令和5年度は、遊水地の設置、ポンプの設置工事を行います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 今の195ページの県営たん水防除事業の大久伝の件ですけど、これって、総額は幾らだったかということと、従来よりも貯水、あるいは排水の機能は従来と比べてどうなるのか、その点についてお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 県営事業としての総額は23億というふうに聞いております。

あと、ポンプ等の能力については、設置当時のものと変わらないというふうになっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 概要の23ページの上のほうです。農地関連システム整備運用事業ということで、一元管理、データを進めるよと。これは、全国的かなと思うんですけども、さきの委員会で電算関係委託料が150万ほど減、その理由が、水田情報とか、何か県で一括で行うことになったからというような御答弁、記憶しているんですけども、今回、この電算関係委託料500万円余は、そういった広域というのか、県とか、近隣とか、そういったものを加味された上での事業費でしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、先回の3月補正で減額させていただいたものは、農業振興事業の水田情報のほうの電算関係委託料を減額したものでございます。こちらの農地関連システム整備運用事業の500万5,000円につきましては、まず、農地情報、もう農業委員会のほうが所管しております農地情報、こちらのほうのデータを、国の開発システム、こちらも国の開発システムといっても、全て、いろんな情報がございしますが、農業委員会関係のほうのデータ整備を進めていくものでございます。もともと、随分前に開発されたものなんですけれども、使いづらくて、各自治体があまり使っていないような様子でしたが、令和4年度から農林水産省のほうもしっかりと連携してやっていくということで、大分推進しております。

今回、私どもが国の開発システムのほうにデータアップを令和4年度に、今、現在やっているんですが、そのデータアップするだけではなくて、来年度はしっかりこれを活用していくということを主眼に置いて、支援アプリのほうを導入して、そういった中でこちらのほうの国のシステムを使っていく流れにしたいというふうに考えております。

なぜこれを使いたいかというと、農業委員会のほうのタブレット端末、委員さんのほうが使われるタブレット端末とも連携していくものですから、将来的には、国も一元管理、農地の一元管理、先ほど申し上げた水田情報だとか、農業委員会の情報を一元管理するというふうな流れになっておりますので、私どものほうも、国のほうがそういった推進していく中で、合わせてやっていきたいというふうに考えております。

ただし、こちらのほう、国の補助金というものが利用できないか検討したんですけども、活用できる補助金がなかったものですから、一般財源でもやっていくということで、こちらのほうを計上させていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じところ、概要でいくと、多分、21ページの上に詳しく載っていると思うんですけど、500万5,000円、これは、アプリケーションを導入するというので500万円程度がかかるのか、何かそういう制度設計したりとか、何かランニングコストだとか、イニシャルコストだとか、いろんな切り分けができると思うんですけど、どのような積算でこの500万円余になっているのかというのを教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらは、まず、アプリケーションソフトはパッケージであるんですけども、それを本市の業務に合わせた形で帳票類を作成するというカスタマイズもございます。私どものほうの持っている情報を連携させるということもありますので、初期投資という形で、こちらのほうが432万3,000円ということで想定しております。

あと、併せて、地図データ更新というのが下段のほうに書いてありますけれども、こちらは68万2,000円ということで想定しております。

じゃ、将来的にどうなるのかということ、今のところなんですけれども、99万円ほどでやっていけるという形になるので、現存のシステムをいずれ、もう使わなくしたいものですから、そうすると相殺されて、より安価な形で運用していけるというふうに確認しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 191ページの下から七、八行目ぐらいのところですけど、新規野菜産地ブランド化事業補助金ということで、35万9,000円上がっています。何かカリフローレを推奨するとかというようなことを前やっておられたと思いますが、この新規野菜というのは、カリフローレ以外にどのようなものがあるのか。

それと、それから、豊明の出荷額がどのくらいなのかということをちょっと教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、出荷額については公表されていないものですから、

こちらのほうでお答えすることはできません。

あと、新規野菜につきましては、カリフローレ以外にも、ブロッコリーだとか、キャベツとか、ケールといったものが、今までは市場出荷できなかつたんですけども、これをきっかけに市場出荷できるようになったというふうに把握しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ごとう委員。

○ごとう 学委員 出荷額、公表されていないということですけども、あと、これ、関わっている農家数は分かりますよね。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） カリフローレにつきましては、実績としまして7名というふうに伺っておりますが、今回の補助対象者が7名という形であって、実際には、個別で独自に出荷されている方もお見えになるというふうには伺っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて6款 農林水産業費の質疑を終わります。

続いて、7款 商工費について説明願います。

秋永産業支援課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） それでは、7款 商工費の主な歳出から御説明いたします。

予算書196ページ、197ページをお願いします。

上段、7款1項1目 商工総務費は、前年度比27万円、パーセンテージにして0.45%の増額で、前年度とほぼ同額となっております。

下段、2目 商工振興費は、前年度比4,151万9,000円の増額で、主な理由は、市内企業が工場を新たに立地する際に交付する再投資促進補助金を2件予定しているためです。

1ページおめくりいただき、198、199ページをお願いします。

下段、3目 観光費は、前年度比2万7,000円の増額で、前年度とほぼ同額となっております。

1ページおめくりいただき、200、201ページをお願いします。

上段、4目 消費者行政推進費は、前年度比67万3,000円の増額で、主な理由は、寺池の区画整理に伴い、都市ガスのガス管敷設工事費の5%相当額を補助金として交付すること

によるものです。

次に、主な歳入について御説明します。

66ページ、67ページをお願いします。

15款2項6目 県支出金、商工費県補助金、説明欄、新あいち創造産業立地補助金は、工場の新たな立地の際に交付する再投資促進補助金において2分の1を県が負担することによるものです。

以上で7款 商工費の説明を終わります。

○**予算特別委員長（近藤千鶴議員）** 説明は終わりました。

7款 商工費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

林委員。

○**林 ゆきひろ委員** 197ページの下の方のふるさと納税の事業についてですけども、まず、消耗品費は、これは、恐らく返礼品の購入だと思うんですけども、それが年々ちよっと下がってきているということ、それと、もう少し下のふるさと応援寄附関係委託料、こっちのほうは逆に増えているというところなんですけども、この中に返礼品等も入っているのか、どういったことを委託されているのか。この消耗品が減っている理由と、この委託料の中身についてお聞かせください。

○**予算特別委員長（近藤千鶴議員）** 答弁願います。

秋永課長。

○**産業支援課長（秋永亘正君）** 消耗品については、返礼品が中身なんですけれども、実績に応じて消耗品の部分を減額したものと、あと、返礼品の中には、委託によるものがございます。例えば、藤田医科大学によるPET検診というもの、あれは委託に該当するんですけども、そういったものがだんだん増えてきたことによる委託費の増額と、あと、ふるさと納税の事務を、大手ポータルサイトを来年、さとふるというところに委託を考えておりまして、そういったところに事務委託というものをお願いする予定でございます。ですので、その部分が今回の委託料に含まれているというところでございます。

以上でございます。

○**予算特別委員長（近藤千鶴議員）** ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○**ふじえ真理子委員** 概要の23ページの中小企業等再投資促進事業、先ほど2件、工場新增設と設備導入経費の一部を補助ということですが、これは、どのようにその2社が選ばれ、これからか、どのように選ばれるのでしょうか。広く公募とか、こういった形で投げ

かけられたんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） これは、市内事業者さんが豊明市内に新たに工場を増設したりする場合に補助金を交付申請できるもので、その事業認定の申請が今年度2件あったということでございます。それを来年度に交付するというものでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 今の件に関連して、それは、市内事業所であれば、分野は特に関係なく対象になるということなんでしょうか。それとも、例えば、環境だとか、それから、これからですと、IT関係だとか、そういったものへの投資を誘導するような、そういう形にはなっていないということなんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） まず、制度が2つございます。愛知県が半額出すもの、それについては、いずれも製造業ではあるんですけども、製造業の中でも分野が一定程度限られております。

一方、これ、市独自のものがあるんですけど、中小企業再投資促進補助金というもの、これは製造業であれば、分野は問わないという立てつけになっております。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 201ページの上ですね。

（マイクの声あり）

○鵜飼貞雄委員 ごめんなさい、201ページです。都市ガス導入補助金70万円、これって、引込みの工事費の5%ということですかね。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 本管、支管の敷設代金の5%というものでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。



鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 ちょっとそもそもで聞いちゃっていいですか。

これ、豊明市のを調べたら、導入補助金の交付に関する要綱というのを見つけたんですけども、これ、そもそもどういった理由から、こういった補助金というのができたのか教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） ガス管というのは、そもそもインフラ整備でございまして、ガス管、区画整理をするときに都市ガスを選択するのか、プロパンでもどちらでもいんですけれども、そういった都市ガスの整備というのはインフラでございまして、そのインフラを設置する、設置を促進するための補助金ということで理解しております。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 関連ですけれど、このガス管の補助金は、土地区画整理組合の今、進んでいる寺池の対象という予算でしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） 寺池の土地区画整理を対象としております。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 ガス管を導入することになると、相当な投資が要ると思うんですけど、それにしても、この補助金の額が70万ということなんですけど、この70万というのはどういう基準で決まるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） まず、ガス事業者さんから寺池地区の区画整理のときに、ガス管敷設の金額というのをとおむね聞いてございます。とおむね1,372万8,000円という金額をいただいておりますが、その5%ということで70万という金額になっております。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの中小企業の再投資促進事業についてなんですけども、4,300万、約、かかっている、一般財源でも2,600万ほどあるんですが、これは、こういったことを補助として出して、回収というのはできるのか。どれぐらいの期間で回収とか、見込んでいるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） この再投資促進補助金というのは、建物と償却資産に対する一定の割合を補助するものでございます。ですので、償却資産がどれぐらいあるかというところ、取得費の5%なり、10%ですけれども、固定資産税でどれぐらいの償却、償却が短ければ、回収するのに時間かかりますし、償却が長ければ、比較的短期間で回収はできると思いますけれども、おおむね10年前後というふうに理解しております。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 説明や答弁を聞き逃してしまったかもしれないです。すみません。199ページの上段の経済環境適応資金信用保証が減額になっている理由を教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

秋永課長。

○産業支援課長（秋永亘正君） これは、もともと令和2年度に、コロナによって企業の経営状況が非常に悪化したときに、国の政策によって無担保、無保証というゼロゼロ融資というものが実施されました。そのときに、かなり多くの経済環境適応資金が活用されたんですが、今はそういった国の政策、減免措置もありません。ですので、そういった経済環境適応資金を使う機会が、もうコロナによっては使えない状況になっております。ですので、こういった減額という形になっております。

以上でございます。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて7款 商工費の質疑を終わります。

ここで、10分間の休憩といたします。

午後3時40分休憩

午後 3 時 5 0 分再開

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、8 款 土木費について順次説明願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 8 款 土木費のうち、土木課が所管する主な内容について歳出から御説明いたしますので、予算書202、203ページをお開きください。

説明欄、下から 2 行目、急傾斜地崩壊防止事業負担金は、三崎町社地内の土砂災害警戒区域内において県事業の急傾斜地崩壊対策事業に対する負担金で、令和 5 年度に完了する予定です。

204、205ページをお開きください。

下の表、2 項 1 目 道路維持費の主なものは、右側説明欄、道路維持事業の 8 行目、調査測量設計等委託料1,845万円は橋梁定期点検を実施いたします。

その下、道路等維持修繕工事費は、苦情及び要望に対する道路施設の修繕工事及び前後駅前広場北側デッキ整備工事、舗装修繕工事を実施いたします。

その下、道路管理事業は、右側説明欄 2 行目、道路用地購入費、県道名古屋岡崎線の市道用地を買収するために3,728万7,000円を計上しております。

下段、2 目 道路新設改良費のうち道路新設改良事業、右側説明欄 3 行目の道路新設改良舗装工事費は、区長要望及び管理者施工に係る工事費として 1 億7,000万を計上しております。

206、207ページをお開きください。

3 目 交通安全施設費のうち交通安全施設整備事業は、工事費として区画線、防護柵、カーブミラー等の設置及び通学路を整備するため、2,790万円を計上しております。

その下、3 項 1 目 河川新設改良費のうち河川改修事業、右側説明欄、調査測量設計等委託料は、治水対策事業としまして総合治水対策基本計画の見直し及び基本設計業務委託等を実施いたします。

続きまして、歳入について御説明いたします。

52、53ページをお開きください。

14款 2 項 国庫補助金のうち道路橋梁費補助金は、橋梁点検に対し道路局所管補助金として計上しております。

54、55ページをお開きください。

14款 4 項 国庫交付金のうち 4 目 1 節 道路橋梁費交付金は、道路新設改良舗装及び交

通安全施設整備などに対して社会資本整備総合交付金として計上しております。

66、67ページをお開きください。

15款2項 県補助金のうち7目 土木費県補助金、道路橋梁費補助金は、新田町地内の道路改良工事費への補助金を計上しております。

78、79ページをお開きください。

18款 繰入金、1項2目 公共施設建設費及び整備基金繰入金の3,500万のうち3,000万円は、歳出で御説明いたしました道路新設改良舗装工事費に充てる基金です。

90、91ページをお開きください。

20款5項3目 雑入の4行目、県公共補償金は県道名古屋岡崎線の市道用地購入に対する県からの補償金として計上しております。

94、95ページをお開きください。

21款1項3目 土木債の前後駅前広場整備事業債3,010万円は、前後駅前広場の北側デッキ整備事業に充てる市債でございます。充当率は90%です。

2段目、河川浚渫事業債460万円は、若王子川しゅんせつ工事に充てる市債でございます。充当率は100%です。

以上で土木課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 続きまして、都市計画課所管分について御説明いたします。

初めに、歳出について主なものを御説明いたします。

予算書の208、209ページをお開きください。

下段、8款4項1目 都市計画総務費、2 都市計画調査事業のうち、説明欄、上から3段目、都市計画基礎調査等委託料は、都市計画基礎調査業務、都市計画図修正業務などを委託するものでございます。

続きまして、210、211ページをお開きください。

都市計画総務費、右側説明欄、下から7段目、住宅・建築物安全ストック形成事業補助金は、木造住宅耐震改修費補助事業などになります。令和5年度は要安全確認計画記載建築物の除去工事に対する補助事業が含まれております。

続きまして、212、213ページをお開きください。

3目 街路事業費、右側説明欄、上から6段目、調査測量設計等委託料は、県道名古屋岡崎線に接続する都市計画道路、市道桜ヶ丘沓掛線、大根若王子線の予備設計を修正する業務と用地測量業務を委託するものでございます。

4目、公園事業費、公園施設改修事業、右側説明欄、調査測量設計等委託料は、長田公園にありますトイレの解体に伴い、外壁塗料のアスベスト含有について調査を委託するものでございます。

その下、公園施設改修工事費は、要望工事や老朽化した施設の改修工事になります。令和5年度は、街区公園のリノベーション工事として長田公園の改修工事が含まれておりません。

続きまして、214、215ページをお開きください。

公園事業費、説明欄の一番上にあります指定管理料は、都市公園に係る指定管理料になります。令和4年度から令和8年度までの債務負担行為の2年目になります。

続きまして、216、217ページをお開きください。

7目 有料駐車場事業費になります。令和5年度より特別会計を廃止し、一般会計で実施することとなっております。説明欄5段目、有料駐車場維持管理等業務委託は、前後駅南月ぎめ駐車場と豊明駅南月ぎめ駐車場の管理委託及び草刈委託になります。

続いて、歳入について御説明いたしますので、予算書の40、41ページをお開きください。

13款1項5目 土木使用料、2節 都市計画使用料、右側説明欄、有料公園施設使用料は、落合公園、西川公園にありますテニスコートの使用料でございます。

その下、有料駐車場使用料は、前後駅南月ぎめ駐車場と豊明駅南月ぎめ駐車場の使用料でございます。

続きまして、52、53ページをお開きください。

14款2項5目 土木費国庫補助金、2節 都市計画費補助金、右側説明欄、地籍整備推進調査費補助金は、県道名古屋岡崎線に接続する都市計画道路、市道桜ヶ丘沓掛線の用地測量に伴う補助金でございます。

続きまして、66、67ページをお開きください。

15款2項7目 土木費県補助金、1節 都市計画費補助金、右側説明欄、市町村土木補助事業補助金は、長田公園改修工事に伴う県の補助金でございます。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 川島課長。

○市街地整備課長（川島康孝君） 市街地整備課所管分を御説明いたします。

まず、予算書の211ページを御覧ください。

下段の市街地開発事業は5,375万1,000円で、主なものを御説明いたしますので、もう一枚おめくりいただいて、213ページをお願いいたします。

説明欄の一番上、寺池土地地区画整理事業補助金4,000万円につきましては、補助金交付要

綱に基づく補助金の3年目で、最終年度となります。その下の柿ノ木開発事業負担金1,056万円は、区域外の道路工事に伴う企業庁への負担金です。

続きまして、歳入を御説明いたしますので、53ページをよろしくお願いたします。

中段の都市計画補助金のうち都市構造再編集中支援事業補助金2,670万円は、豊明ノースセントラル地区における整備事業に対して国から補助金が交付されるものです。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 外山課長。

○下水道課長（外山紀元君） 続きまして、下水道課所管分の歳出について御説明いたします。

予算書の214、215ページをお開きください。

中段の5目 都市下水路費、下水道事業会計繰出事業につきましては5億3,701万3,000円で、前年度比1億167万6,000円、23.4%の増額です。その内訳は、説明欄、他会計負担金1億4,449万4,000円がいわゆる基準内繰り出しとなりますが、下水道事業会計の3条予算と4条予算へ繰り出します。他会計補助金2億3,251万9,000円は3条予算へ、他会計出資金1億6,000万円は4条予算へそれぞれ繰り出すものです。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明は終わりました。

8款 土木費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

近藤善人委員。

○近藤善人委員 203ページの下の方の急傾斜地崩壊防止事業負担金なんですけど、これ、もうほとんど工事は終わっていると思うんですけども、100万円の内容と完了する月が分かればお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 工事は全て終わっておりまして、令和5年度につきましては付近の住宅の事後調査を行います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 近藤善人委員。

○近藤善人委員 調査の具体的な内容はどのようになっているのでしょうか。お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 工事として既設の地盤にアンカー工を打ったところに対して住宅の影響、ひび割れですとか、沈下ですとか、そういったことを調査いたします。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 205ページの真ん中辺りの調査測量設計委託料で、これは資料ナンバーの1の⑦の道路、橋梁等の長寿命化事業ということで対象一覧を出していただきました。これだけ橋があるんですが、どんなことを具体的に行っていくんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） こちらの橋梁点検は、道路法に基づきまして全ての橋梁を5年に1回、定期点検を行います。今年度はこの28橋と大型ボックスカルバートを点検いたします。点検内容といたしましては、橋桁の腐食、亀裂ですとか、支承部の機能障害、あと、ボックスカルバートにつきましては、蝶番、側壁のひび割れ等、あと、目地の状況を確認いたします。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

毛受委員。

○毛受明宏委員 213ページの公園事業費、2の公園施設改修事業ということで、下の段の公園施設改修工事ということで、これは主要施策のほうでも長田公園の改修事業というふうで載ってる。これがそうかと思いますが、これは下の説明書きを見てみると、最後のほうに安全で安心というところが出てるんですけど、防災型とか、そういう改修ではなく、居心地をよくするというか、そういう改修でよろしかったでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） こちらのほうは防災型の改修ではなく、地元の住民の方たちと老朽化した施設をどのように改修していくかというのを話し合いまして、よりよい公園に変えていくという形の改修工事となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今の長田公園の改修で関連なんですけれども、防災型ではなくとい

うことなんです、特色あるそういう地域の公園、これだけお金をかけて変えるチャンスなんですけれども、そういった地域の話合いの場に当局、行政の職員の方はどういう形で関わるのかということ、先ほど、毛受委員が言われた防災型だとか、ほかのいろんな全国の事例を示して、こういった公園もあるというようなことも含めて話し合われるという予定はあるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） こちらのほうは、まず、職員のほうが地元の区長さんであったり町内会長さんであったりにお話をいたします。そこから地元の方々に集まっていたりいただきまして、今回リノベーションということで老朽化した施設を改善してくという内容をお伝えいたします。そこで、職員のほうから、どのような形で打合せのほうを進めて施設のほうの改善をしてこうということを提案していきまして、数回そういった場を設けて、遊具なり、その公園の施設なりについて、地域の方々から要望を出していただいて、それで、予算の範囲内でどれを採用するかというのを決めていくような形で進めております。

先ほど言われた防災型の公園については、現在、都市計画課のほうで改修の予定はありません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じところ、概要だと25ページの下だと思うんですけど、長田公園、同じです。最初の説明で何かトイレを撤去する云々というふうな感じで聞こえたんですけど、これも地元の方とのディスカッションの中でそういう話が出たのか、それとも何か不都合があってそういう方向に進めるのか。お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） トイレの撤去については、地元の方からの意見というか、市のほうからトイレの存在のほうを確認いたしまして、存在というか、必要性をどのように地元の方々にどういうふうにご検討しておりますかというのを聞きまして、地元の方々の中で今回リノベーションするときに一緒に撤去していただきたいという要望が出ましたので、撤去するという形で考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。



ごとう委員。

○ごとう 学委員 213ページ、お願いします。

上から2つ目の柿ノ木開発事業の負担金1,056万ですけれども、先ほど企業庁へ負担金として出すもので区域外工事ということでしたけど、区域外のどういう工事かということについてもうちょっと説明をお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

川島課長。

○市街地整備課長（川島康孝君） ちょうど柿ノ木の工業団地の間に名古屋岡崎線というのが走ってまして、そこに工業団地の入り口の交差点を造る予定です。名古屋岡崎線の今刈谷のほうから道がつながりかかっていますので、その完成形を見据えて接続部分の歩道とかの道路工事を行うものです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 その工場団地の真ん中辺りかな、南北でいうと真ん中辺りにできる交差点というのは、これでもう完成すると、そういうことなんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

川島課長。

○市街地整備課長（川島康孝君） 交差点のほうは名古屋岡崎線の供用開始に合わせて県のほうが工事を行う形で今話が進んでいますので、その完成形に合わせて、縁っこの部分を市のほうで、完成形を見据えて企業庁がするという事で、市のほうが負担をする形になります。後々、交差点というのは県道名古屋岡崎線の供用開始に合わせて交差点ができるものです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 概要の24ページの上の段、前後駅前広場デッキ整備事業、これ、下にいろいろ改修工事を行いますと書いてあるんですけども、もう少し具体的に分ければ教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 前後駅前広場デッキの整備内容といたしましては、今ある前

後駅の北側デッキのタイルを滑り止めの舗装に改修いたします。それと、バスロータリー内の舗装を取り替えます。それと、下に通じる排水管の改修ですとか、ハトよけネット等の設置を行います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 　いとう委員。

○いとうひろし委員 　北側デッキというのは、駅の改札口を下りてきた正面、これは北側には入らないわけですね。階段を上ってからの上のことだね。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 　答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 　正面は入らずに、改札から出て左手のロータリーの部分です。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 　ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 　予算書のページが215ページ、8款4項4目 公園事業の指定管理料が昨年の当初予算より減額しているんですけど、聞き逃してしまったかもしれません。教えてください、中身を。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 　答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 　こちらのほうは昨年度はイベント用貸出し備品というものを200万円程度、指定管理のほうを買うということで、初年度で。そちらのほうで200万円多かったということになります。毎年毎年、指定管理料の支出のほうはちょっと凸凹しているんですが、ほとんど一定金額になるんですけど、去年と比べて大きく違うというのはその点でございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 　ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 　今年度寄せられた公園の管理のされ方の要望とかの関係で、そういう仕組みじゃないですよ、多分、指定管理がね。ただ、その辺、事業者に伝えた上で逆に増額みたいな話にはならなかったんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 　答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 　そのようなお話にはなっておりません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 213ページの街路事務事業の真ん中辺の樹木剪定・草刈委託料のところ、金額は少ないんですけども、ちょっと、ここ、どこら辺が該当するのか、教えていただけますか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） こちらの街路の樹木剪定・草刈委託料ですが、こちらのほうは街路用地として買った場所がありまして、そちらのほうの草刈りの委託料となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 どの辺のことなんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 間米の交差点の少し北側のところに藤田医科大からずっと来て行き止まりになっているところがあるんですけど、そちらの敷地だったり、あと、勅使グラウンドの北側のところで、勅使台のほうからずっと来て、二村山から勅使台のほうに向けて突き当たりになっているところ、ああいったところが少し街路用地として買っていますので、そちらの草刈りの委託料となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 その草刈りは職員の方がやられるんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） こちらは委託を出しております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

毛受委員。

○毛受明宏委員 207ページの土木費、河川費、一番上の項目になると思いますが、主要施

策でも治水対策事業ということで載っております、これは工事前の整備の設計のほうになるのかなと思いますけど、下のほうの主要施策の説明で公共施設を利活用した流出抑制施設、この整備計画を作成していくということなんですけど、この内訳を教えてくださいたいんです。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） こちらの治水対策事業の内訳といたしましては、まず、田んぼダムの効果検討業務を行います。それと、それに対しまして事業計画書の作成補助業務委託、その次に、総合治水対策計画の見直しといたしまして、井堰川排水区域の調整池について見直しをいたします。それについて調整池を設置する場所について公共施設をどのように利活用できるかというところを考える基本設計を行うという内容になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバーの1の⑩の柿ノ木地区の市負担分ですけども、令和5年度で道路工事をするということなんですけども、また、2024年の見込みでも道路工事というふうになってますけども、道路工事の全体の工事費用の見込みというのはどれぐらいなのかということと、そのうち市の負担分というのはどれぐらいの割合なんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

川島課長。

○市街地整備課長（川島康孝君） 企業庁が行う道路工事というのは公表されてませんので、ちょっとこちらのほうではお答えしにくいんですが、市のほうが負担する道路工事分はこちらの資料の1の11にあります2023年の1,056万と翌年度の225万の2つになります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 207ページ、予算書、交通安全施設整備事業の予算が2,432万5,000円、昨年が3,340万で予算が減ってるという理由は何でしょうか。要するに交通安全対策はもうほぼ出来上がったということで減らしたんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 去年に比べ、去年までは八街市に対してそういった緊急点検の対策工事で増えておりましたが、それが終わってきたということでこのような状況になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 去年が増えたということですが、その前の年は4,100万あったと私のノートには記録されてるんですけど、何か毎年減ってるような傾向に感じるんですけど、そうではないのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） おとしまでは大津の交通事故に対する緊急点検の園児移動経路の対策工事を行っておったところから増えておったのが、それが終わってきたということです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 園児の中に車が突っ込んで子どもが亡くなったというようなことがあって緊急でやっとなるんですけど、それから3年たってもまだ2,790万予算があるのが私のほうはむしろ不思議だったんですけど、どこが残ってるんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 大津市での緊急点検の対策と八街市での緊急点検での対策は全て終わっている状況ですので、今の予算については区長さんからの交通安全施設の要望に対しての工事費となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 ですから、そういう危険なところのやり残しがあってこういう要望が出てきておると思うんですけど、これはどこなんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 区長要望に関してはその都度出てきますので、先ほど言いました大津での緊急点検と八街市での緊急点検の危険箇所は全て完了しております、その後の区長要望ですとか交通安全プログラムでの点検について対応する予算となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今回の関連なんですけれども、資料ナンバー2の⑤に該当するのかなと思うんですが、交通安全の工事、ここに令和5年度の通学路交通安全プログラムに基づく整備ということで、今年度の通学路危険箇所一覧というのをホームページで見たんですけれども、ここに書いてある令和5年度の実施予定5件計上されているんですが、これが全部この2,100万円、この表の2,100万の中に入っているという理解でよろしいですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 令和5年度の交通安全プログラムについてはこれから実施する点検ですので、それで出てきた危険箇所に対応するということになっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

青木委員。

○青木 亮委員 予算書の205ページの2節の道路管理事業の説明欄で道路用地購入費3,728万7,000円ということで、これは名岡線の買収ということで、何平米か分かりますでしょうか。

それと、県事業でありますけれども、豊明市内のいわゆる県道としての用地買収の進捗状況、何割ぐらい買収が進んでいるのか、お伺いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 割合につきましては全体の60%を来年度購入予定でございます。平米に関しましては単価が推察されますので、ちょっとお答えはできません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 53ページの歳入ですけど、真ん中辺りの都市計画費補助金で一番下

の地籍整備推進調査費補助金の498万円ですけれども、これが歳出だとどういったものに充てられているのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） こちらは歳出ですと、予算書の213ページの街路事務事業の調査測量設計等委託料、こちらのうちの用地調査業務に当たります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回の用地測量業務というのは名古屋岡崎線の接続の関係ということでよかったですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） そのとおりでございます。名古屋岡崎線に接続する市道桜ヶ丘沓掛線の用地を測量する業務になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほどの207ページ、先ほどの交通安全施設の関連の工事費でこれから点検で修繕ということだったんですけれども、資料ナンバー2の⑤の下に書いてある先ほどの通学路、これは10款で聞くのかな、ちょっと分からないんですが、令和5年度に実施するものがホームページに出てるんですけれども、その関連はこの土木課さんでの把握というのか、この2,100万円の中にその通学路の5件入っているんですけど、そこで入ってるというふうには御答弁はできないでしょうか。10款ですかね。分からない。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） この交通安全施設工事費の中身がどうかということですよ。

○ふじえ真理子委員 資料ナンバー2の⑤を出していただいているんですが、その下の段の通年で区長要望だとか、路面舗装とか、あるんですけれども、その通学路交通安全プログラムに基づく整備ということで、資料にはないんですが、ホームページのほうで通学路の危険箇所一覧というのが出てまして、令和5年度実施予定というのが5件上がってたんです。なので、ここでこの2,100万円の中に入っているんですかという確認をしたかったんですけれども。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 分かりますか。答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 令和5年度の交通安全プログラムに関する工事はこれからやっていくということです。今、ホームページに載ってる対策につきましては、上のほうの国庫補助事業のほうで対応するという事です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 じゃ、その上の概算金額700万という表の上のほう、そこにこの5件が入ってるという理解でよろしいですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 星子課長。

○土木課長（星子恭士君） そのとおりです。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 211ページ、お願いします。

ちょっと先ほど聞き漏らしたかもしれませんが、上から十何行目、ページの真ん中辺りですけど、住宅・建築物安全ストック形成事業補助金3,240万8,000円、これの増分の中に地域防災拠点2,118万1,000円というのがたしか入ったと思うんですけど、それはどこにどういうものができるのかということをちょっと教えていただきたいと思います。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） こちらの住宅・建築物安全ストック形成事業補助金のうち地域防災拠点建築物整備緊急促進事業ということで、豊明市の1号線沿いにあります大きな建物になります。マンションになるんですが、こちらのほうが要安全確認計画記載建築物というものになりまして、通行障害の既存耐震不適格建築物というものになっております。豊明市ではそれが1つ指定されておりました、そちらのほうの除去工事に対する補助金額ということになっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 今の件に関してですけど、豊明市が除去するという事で間違いはないのかということと、その財源は国県支出金の中に入るとるんですかね。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中野課長。



○都市計画課長（中野忠之君） 除去するのは所有者になります。その所有者が除去する費用の一部を国と県と市で補助するという形になっております。ですので、国庫補助金のほうにあります住宅・建築物安全ストック形成事業補助金と、あと、県の補助金であります同じ住宅・建築物安全ストック形成事業補助金、こちらのほうに国のほうからの補助が入ってくるような形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 端的に市の負担分は幾らなんですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 市の負担分は約500万円程度です。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 どこに入っているかちょっと分からなかったんですけども、濁池のソーラーパネルのいわゆる池貸し料というか、貸し池料というか、その賃料はどこに入ってるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 濁池の使用料につきましては来年度には発生いたしませんので、来年度予算には入れておりません。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 頂いた資料で2の④令和5年度土木道路新設改良事業発注予定一覧、管理者施工と区長要望があるんですけど、予算的にはこの予算なんですか。205ページの道路新設改良舗装工事費1億7,000万あるんですけど、この資料の予算はどれを見ればいいんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 資料の22件につきましては、道路新設改良舗装工事費1億7,000

万の予算となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 じゃ、その1億7,000万、この22件が1億7,000万の予算だという理解でよろしいですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） はい、そのとおりです。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 209ページの一番下の都市計画基礎調査の調査内容をお聞かせください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） こちらは5年に分けて調査を行っているもので、令和5年度は土地利用現況の調査を行う予定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 同じ209ページの……。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） もう一度、ページをお願いします。

○ごとう 学委員 同じ209ページの上のほうの3つ目、河川等維持修繕工事費1,232万2,000円と上がってますけども、これはさっき歳入のほうで井堰川、若王子川のしゅんせつとかいう補助がありましたけど、その関係でしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） しゅんせつ工事につきましては、令和5年度、若王子川のしゅんせつ工事を行います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 概要の24ページ、先ほど、前後駅前のデッキの事業についてお聞きしたいんですけども、最初のそもそものこの整備をする狙いというのはどういうところにあるんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 狙いといたしましては、現況、タイルが凸凹してしまっていて、つまづく人が発生したりですとか、中のバスロータリーについては舗装が凸凹してバスの状況に影響が出ているということから整備工事を実施することとしております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今、お聞きしてて安全性の向上ということで当てはまるかと思うんですが、概要の3行、4行ある中で景観保存に努めます。この景観保存というのは具体的にどういうふうなんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 景観保全につきましては、タイル部分をカラー舗装にいたしまして、それと同時に滑り止めの舗装にします。そして、バス待ちですとか、タクシー待ちのところに色分けをすることによって、そういった歩行者の流れを整備することによって景観等の向上を図っていくものとしております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 関連なんですけれども、今回この4,500万円余ということで、概要にも書いてあります市の玄関口であるということで、この整備事業をすることによってどういうふうに今後の市の発展につながっていくというふうにお考えでしょうか。安全性は危険なところはすぐ直さなきゃいけないというのは分かるんですけども、前後駅一帯の市の玄関としてどういうふうに魅力的にしていくための整備なんでしょうか。どういう位置づけでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 今の現況、タイルが凸凹しているというところからきれいなカラー舗装にしまして、明るい豊明市の玄関口として明るい環境を向上いたしまして今後の発展につなげていくというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 川島課長。

○市街地整備課長（川島康孝君） 補足させていただくんですが、先日、UR都市機構さんとまちづくりに関して協定を結びまして、前後駅から豊明団地、それから、市役所周辺のまちの活性化と、それから、事前防災に関して協定を結びまして、当然、前後駅もにぎわいのあるまちづくりをURさんのお知恵をいただきながら、今度、都市計画マスタープランの改定もありますので、それに向けていろいろとチャレンジしていこうかなというふうに考えています。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 201ページ、お願いします。

金額が物すごく小さいのでちょっとあれですけども、一番下の建設発生土システム等使用料、この建設発生土があちこちで発生しているような情報は今までも多分やり取りしとったと思うんですけど、これは何か県のシステムを使わせてもらうとか、そういうようなことになってくんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） システムとしては今までも使っておったんですけども、その上の委託料の中に入れてましたので、支出の項目が使用料というふうに別出しをしたということになります。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 207ページの河川改修事業の調査測量設計で、概要の24ページ、治水対策事業ということですけども、まず、田んぼダムの調査検討と治水対策の整備計画も作成するというふうにあるんですけども、どういった整備計画を作成される予定なのかということと、今ある計画を更新するというようなふうなんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） まず、田んぼダムの効果検討といたしまして、全ての市内の水田を田んぼダムとした場合の洪水調整量を算定いたしまして氾濫解析シミュレーション

を行います。それによりまして効率的な田んぼダムの実施の優先順位を決める、そういった資料作りを行います。それと、総合治水対策計画につきましては、先ほど言いましたが、井堰川排水区において下高根公園に調整池を造るというふうな計画になっておりますが、それについて経済性というところから見直しを行いまして、公共施設に代わる調整池ができないかというところを見直しを行うということです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今回の関連の概要も24ページの下のところですけども、あと、そこに書いてあるものとしてロードマップも作成しとということがあるんですが、今お聞きしていると、ロードマップを作成するのと公共施設、井堰川排水区のことの計画見直しと、あと、田んぼダムの調査検討業務という3つのことがこの4,120万に入ってるのかなと思うんですが、それぞれの内訳をお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） ロードマップにつきましては既にホームページで公開しておりますので、これについてはこの金額には入っておりません。先ほども申し上げましたけども、項目としましては、田んぼダムの効果検討業務、それに対する田んぼダムを補助対象事業とするための計画づくりの補助業務委託と井堰川排水区の総合治水対策の見直し、その結果によります調整池設置の基本設計業務委託、その4つでございます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 金額をお願いします。

○土木課長（星子恭士君） 金額でいいますと、一番最初の田んぼダムにつきましては40万円ほど、計画補助につきましては200万円ほど、総合治水対策計画見直しが80万円ほど、基本設計が3,400万円ほどとなっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 207ページの河川改修事業の県道名古屋岡崎線事業負担金776万1,000円、第8次の実施計画を見ますと、県道名古屋岡崎線の排水路の拡幅っていう説明書きがあるんですけど、もう少し具体的に説明をお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） こちらは県道名古屋岡崎線の豊明刈谷工区における県道が道路築造される部分を既設の排水路が今通ってるんですけども、そちらの既設排水路の拡幅部分の愛知県に対する負担金でございます。排水路を拡張することによりまして浸水箇所の拡大を防ぐということを行います。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 先ほどの概要の24ページの治水対策事業のところ、この4,120万6,000円のところで一番大きい金額が基本設計3,400万円とかというような説明がありましたけれども、この3,400万円の基本設計というのは、貯水池だとか、そういったものをこれで設計をそこまでやるということですか。ただ計画をつくるだけじゃなくて、そういうところまでやるという、そういう意味でしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 調整池のいろんなとこにどこで計画するかということをもまず比較検討を行いまして、経済性、施工性を検討いたします。それで、決定箇所に対して調整池の基本設計を行うというものです。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 ちょっと確認したいですけど、調整池の基本設計までやるということは、調整池がどのくらいの大きさでどのくらいの深さでとか、そういったところの概略が分かるようなところまでこの中で設計をやるという、そういう理解でよろしいですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） そのとおりでございます。

先ほど治水対策事業の中で田んぼダム40万円と申し上げましたが、400万円に訂正させていただきます。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の209ページの河川維持管理事業なんですけれども、こちら、実施計画で見ましたら、令和5年度、この河川敷の広場を整備するという事で3,300万が上ってるんですけれども、ここの説明をお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 実施計画分については当初予算にはのってなくて、補正で対応しようというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて8款 土木費の質疑を終わります。

ここで理事者側の説明者の入替えのため、暫時休憩といたします。

午後4時42分休憩

午後4時45分再開

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、9款 消防費について説明願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） それでは、9款 消防費について増減の大きなものを中心に御説明させていただきます。

当初予算書の216、217ページをお願いします。

下段の9款1項1目 常備消防費ですが、対前年度比で2,393万8,000円の増となっております。主な増額要因ですが、右側説明欄の一番下、尾三消防組合への負担金が増加したことによるものです。

続いて、218、219ページをお願いします。

非常備消防費ですが、対前年度比で150万6,000円の増となっております。主な増額要因ですが、説明欄の一番上、消防団長等報酬を増額したためです。

次に、220、221ページをお願いします。

消防施設費ですが、対前年度比で3,254万1,000円の大幅減となっております。主な減額要因ですが、令和4年度は消防団積載車購入費として3,009万8,000円及び消火栓の設置負担金が231万6,000円を計上していたためです。

その下の災害対策費ですが、対前年度比で291万1,000円の増となります。主な増額要因

を御説明しますので、222、223ページをお願いします。

右側説明覧の中段の電波利用料300万8,000円ですが、令和5年度から災害時に使用する移動系無線を更新したことによる利用料でございます。

その3行下、無停電電源装置取替工事費191万9,000円ですが、愛知県と豊明市を相互につなぐ通信網である愛知県高度情報通信ネットワークの停電時に重要な無停電電源装置を取り替えるものでございます。

なお、歳入につきましては、昨年度とほぼ同額の予算となっております。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 説明は終わりました。

9款 消防費について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の217ページの一番下のところです。

尾三消防組合負担金ということで約2,400万ほど増となっております。負担金はたしか4つの項目であるかと思うんですが、今回これだけ増えたその背景というか要因というのがその4項目でどういうふうに変ったんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 今の4項目の中でというお話ですと、一番大きかったのは救急件数割が影響があったというふうに尾三のほうから伺っております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書221ページ、災害対策事業のブロック塀撤去事業費等補助金です。この356万円で何件ほど見込んでおるのでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 当初予算としましては、撤去が20万円の13件分、フェンス等の新設で16万円掛ける6件の96万円で合わせて356万円となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。



○郷右近 修委員 毎回聞いてますが、償還払いか、受領委任払いか、教えてください。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） まず、御本人さんが業者さんに払って、それに対するの補助という形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 223ページの下から4つ目の土のう置場の工事なんですけども、これはどこをどのような工事を行うんでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 私どもが所有しております池下の星城高校の近くの高架の下に置場がございます。そこが砂利になっておりまして、トラック等でいつも土のう等を取りに行くんですけども、ちょっと傾斜が急になっておりましてトラックではなかなか上がれず、空回りして石を飛び散らしながら入っているような状況になっております。ここの乗り入れを改善したいというふうになっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

ごとう委員。

○ごとう 学委員 先ほどの217ページの一番下の尾三消防組合の負担金で2,400万ほど増えてるということでしたけども、理由として救急件数割が多かったということなんですけど、これは尾三消防全体の救急に係る費用が増えているのか、尾三消防の中で豊明市が特に増えているから豊明市の負担割合が高くなって増額になったということなのか、その辺りはどういうふうでしょうか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 私の先ほどの説明の仕方が悪くてちょっと分かりづらかったと思いますけども、先ほど4項目というお話でさせていただいたものですから、救急件数割ということでお話をさせていただきました。

具体的な内容の説明としましては、各市町によって負担割合というのは決まっております。負担割合が令和5年度については21.0081ということで、令和4年度よりも下がってお

ります。これが先ほど申し上げた救急件数割ということで、ここは負担割合が下がったよ  
ということでお答えをさせていただきました。

今のごとう委員のお話で、実際には今回2,400万ほど負担金が上がっております。これの  
説明につきましては、今いろんな要件がありまして、例えば電気代とか、光熱水費ですと  
か、備品購入とか、いろんな要件があるんですけども、一番大きな要因としましては車両  
の入替え、こちらは5年度については6台入れ替える予定でおりまして、こちらの分の負  
担金が一番大きな要因となっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 223ページの上から4つ目の光熱水費なんですけども、いろいろ今  
光熱水費が倍近く上がってたりとかってあるんですが、ここの光熱水費だけ減ってるん  
ですけども、これは何の光熱水費なのかということと、なぜ減ったのか、お願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） こちらにつきましては、旧沓掛保育園、こちらは昨  
年度お認めいただいて防災備蓄倉庫に変換しております。現状、防災倉庫として使わせて  
いただいているのが旧遊戯室という形になっておりますけども、保育園のときは高压電力  
という形でやっておりましたけども、来年度から撤去工事が入りまして旧遊戯室だけ残る。  
そこだけ残るということで低圧電力に変えます。そういったことで大幅に電気が下がる  
という形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 223ページの真ん中より少し下ぐらいのところの電波利用料300万8,000  
円ですけども、結構高いなと思うんですけど、これ、何台分とかなんでしょうか。何年分  
かもお願いします。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） これは年数については毎年という形になります。内  
容につきましては、移動系無線、こちらのほうを今年度新たに入れ替えまして、台数とし  
ては80局分という形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 これ、局数に応じて増えるものですか。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 今、委員がおっしゃっていただいたとおり、1局当たり幾らという形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） これにて9款 消防費の質疑を終わります。

本日の予算特別委員会はこちらまでとしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○予算特別委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。よって、本日の委員会はここまでといたします。

今回は明3月10日午前10時より委員会を再開し、本日の続きから各特別会計及び企業会計について審査を行いますので、よろしく願いいたします。長時間御苦労さまでした。

午後4時54分閉議

豊明市議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する。

予算特別委員会

委員長